

健康福祉部

生活福祉課

障がい者支援課

高齢者支援課

健康課

1 民生委員・児童委員

(1) 構成人員

地区名	人員数
秋川第一地区	21
秋川第二地区	25
五日市地区	24
合計	70

(2) 民生委員・児童委員活動状況

		内 訳	件 数
相談・支援	内容別	在宅福祉	77
		介護保険	66
		健康・保健医療	50
		子育て・母子保健	101
		子どもの地域生活	98
		教育・学校生活	160
		生活費	21
		年金・保険	10
		仕事	2
		家族関係	51
		住居	19
		生活環境	34
		日常的な支援	173
		その他	495
	合計	1,357	
	分野別	高齢者に関すること	742
		障がい者に関すること	27
		子どもに関すること	376
		その他	212
合計		1,357	
その他の活動	調査・実態把握	301	
	行事・事業・会議への参加・協力	1,937	
	地域福祉活動・自主活動	1,495	
	民児協運営・研修	3,050	
	証明事務	266	
	要保護児童発見の通告・仲介	4	
訪問活動	訪問・連絡活動	6,017	
	その他	2,634	
連絡調整回数	委員相互	3,903	
	その他の関係機関	4,107	

※ 相談・支援件数は、1人の相談者から複数の相談を受けた場合、内容別に記載している。

2 社会を明るくする運動

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」は、毎年7月を強調月間とし、罪を犯した人や非行に陥った少年たちの更生や犯罪の防止について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動である。

市では、保護司が中心となり、市内小・中・高等学校、町内会・自治会、民生児童委員協議会、更生保護女性会等の協力により、市内4駅で広報活動を実施した。

駅頭広報活動（令和元年7月1日実施）

実施場所	東秋留駅	秋川駅	武蔵増戸駅	武蔵五日市駅	合計
参加人員（人）	72	58	39	60	229

3 社会福祉法人指導検査事業

(1) 所轄法人の状況 (単位：法人)

社会福祉協議会	1施設のみを経営する法人	複数の施設を経営する法人	合計
1	6	5	12

(2) 認可等事務状況

定款変更	3件
------	----

(3) 指導検査実績 (単位：件)

	検査件数	うち都との同日検査	文書指摘あり
一般検査	4	4	1
特別検査	0	0	0
合計	4	4	1

4 生活資金貸付（貸付限度額1件80,000円）

貸付件数	金額（円）
1	80,000

5 菅生交流会館の利用状況・使用料

開館日数	施設区分	利用件数	使用料			
			徴収分		減免分	
			件数	金額（円）	件数	金額（円）
354	ホール	64	2	5,500	62	162,500
	会議室	19	1	1,000	18	78,000
	和室	8	0	0	8	31,200
合計		91	3	6,500	88	271,700

※ 令和2年3月30日から31日まで新型コロナ対策のため休館

6 受験生チャレンジ支援貸付事業

受験生チャレンジ支援貸付事業は、学習塾等の受講費用及び高等学校、大学等の受験費用に対し、一定所得以下の世帯に必要な資金の貸付けを行うことによって、子どもたちの学習意欲をサポートする東京都の低所得者・離職者対策事業であり、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会への委託により実施した。

内容	内訳	件数
学習塾等受講料貸付	中学3年	23
	高校3年	3
受験料貸付	中学3年	16
	高校3年	8
合計		50

7 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業は、生活保護に至る前の段階で包括的な相談支援を行うことにより、相談者の自立の促進を図ることを目的としている。相談窓口では、就労を始めとする生活上の相談支援を行う自立相談支援事業と、離職者であり就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失又は喪失するおそれのある者を対象とした住居確保給付金支給事業を実施している。更に平成28年度からは、家計面から生活再建の検討が必要な者を対象とした家計相談支援事業を実施している。

(1) 月別生活困窮者自立相談状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
初回相談件数	8	15	16	17	14	9	15	6	11	7	10	17	145
継続相談件数	34	27	25	29	29	25	25	28	28	27	26	32	335
合計	42	42	41	46	43	34	40	34	39	34	36	49	480

(2) 主な相談経路

相談経路	件数
直接来庁・電話	75
市役所他部署からの紹介	28
ハローワーク	1
社会福祉協議会	0
民生委員・児童委員	3
その他	38
合計	145

(3) 主な相談内容（新規相談：複数回答）

相談内容	件数	相談内容	件数
病気や健康、障害に関すること	19	債務や税金、公共料金等の支払いに関すること	16
住まいに関すること	39	地域・家族との関係に関すること	21
収入、生活費に関すること	61	子育て・ひきこもり等に関すること	20
仕事探し、就職に関すること	41	その他	52

(4) 住居確保給付金

世帯区分	支給対象者数	金額（円）
単身	2	207,000
複数	2	221,000
合計	4	428,000

(5) 就労支援

支援対象者区分	就労支援者数	就労決定者数
自立相談支援対象者	25	11
住居確保給付金対象者	4	3
合計	29	14

(6) 家計相談支援事業

家計相談支援対象者数	支援終了者数	継続相談支援者数
11	4	7

8 福祉サービス連携推進会議

あきる野市地域保健福祉計画に基づく福祉サービスの連携及び推進を図るため、あきる野市福祉サービス連携推進会議を設置した。

令和元年度は、令和2年度から5年間の計画を策定するため、地域保健福祉計画策定推進プロジ

ェクトチーム会議として係長を加えて検討を行った。（全6回）

推進会議メンバー

健康福祉部長（議長）、子ども家庭部長（副議長）、障がい者支援課長、高齢者支援課長、健康課長、子ども政策課長、子ども家庭支援センター所長、保育課長及び生活福祉課長

9 秋川ふれあいセンターの指定管理者による管理

秋川ふれあいセンターについては、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会を指定管理者として指定し、管理運営を委託している。

- (1) 指定管理者 社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会
- (2) 指定の期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
- (3) 施設利用状況

開館 日数	施設区分	利用件数	利用人数	使用料	
				徴収分（円）	減免分（円）
335	第1会議室	273	1,977	132,250	512,000
	第2会議室	251	1,938	81,750	517,500
	第3会議室	233	1,779	63,250	530,000
	寿の間	309	5,865	345,600	1,053,000
	ふれあい ホール	365	22,983	943,200	3,583,098
	備品	16		32,000	0
	合計	1,447	34,542	1,598,050	6,195,598

10 生活保護法（保護費支払状況）

区分	支出額（円）	構成比率（％）
生活扶助	424,011,786	27.08
住宅扶助	300,166,171	19.17
教育扶助	7,114,032	0.46
介護扶助	49,900,357	3.19
医療扶助	758,235,312	48.43
出産扶助	0	0.00
生業扶助	3,528,244	0.23
葬祭扶助	2,225,691	0.14
就労自立給付金	509,772	0.03
進学準備給付金	100,000	0.01
保護施設事務費	19,751,870	1.26
合計	1,565,543,235	100.00

※ 医療扶助（平成31年3月から令和2年2月診療分）の診療報酬明細書（レセプト）関連
 算定額 766,136,664円（17,673件）
 確定額 753,509,496円
 過誤調整額 12,627,168円
 （過誤調整額内訳）

内 訳	過誤調整金額	再審査請求件数	査定件数
資格点検による過誤調整	9,384,173円	251件	262件
内容点検による過誤調整	170,930円	247件	75件
その他（医療機関取下げ等）	3,072,065円	—	6件

11 法外援護

生活保護法による被保護世帯に属する学童及び生徒に対して、夏季健全育成費等の費用を支給し、当該世帯の学童及び生徒の健全育成並びに世帯の自立助長を図った。また、被保護者及び被保護世帯に対して、自立支援に要する経費の一部を支給することにより被保護者等の自立促進を図った。

(1) 健全育成事業

ア 夏季健全育成費

区 分	人 員	金 額 (円)
小 学 生	4 9	1 6 1, 7 0 0
中 学 生	2 3	7 5, 9 0 0
合 計	7 2	2 3 7, 6 0 0

イ 学童服及び運動衣購入金

区 分	人 員	金 額 (円)
学童服	小学生	4 4
	中学生	1 6
小 計	6 0	6 8 4, 0 0 0
運動衣	小学生	4 9
	中学生	2 5
小 計	7 4	3 0 3, 4 0 0
合 計	1 3 4	9 8 7, 4 0 0

ウ 自立援助金

区 分	人 員	金 額 (円)
中学校卒業者	0	0

エ 修学旅行支度金

区 分	人 員	金 額 (円)
小 学 生	1 1	4 7, 3 0 0
中 学 生	6	5 1, 0 0 0
合 計	1 7	9 8, 3 0 0

(2) 自立促進事業

内 容	人 員	金 額 (円)
学習環境整備支援費 (中学3年生)	1	1 9 8, 0 4 8
学習・相談ボランティア派遣費用	1	1 3, 2 0 0
高齢者生活環境改善費 (委託清掃費用)	2	3 0 3, 5 6 0
住宅契約関係費 (鍵交換費等)	4	7 0, 4 5 0
合 計	8	5 8 5, 2 5 8

12 災害見舞金支給事務

内 訳	件 数	金 額 (円)
居宅が全壊、全焼又は流失	2 0	6 0 0, 0 0 0
居宅が半壊、半焼又は床上浸水	2 8	2 8 0, 0 0 0
死 亡	0	0
負 傷	0	0
合 計	4 8	8 8 0, 0 0 0

13 令和元年台風第19号災害対応

(1) 賃貸型応急仮設住宅の提供等

ア 施設借上 12件

イ 転居費用助成金 7件 580,925円

ウ 生活必需品購入費等助成金 12件 1,077,233円

(2) 被災者生活再建支援事業補助金 1件 1,200,000円

14 戦没者追悼式（あきる野市遺族会と共催）

日 時 令和元年11月30日

場 所 秋川ふれあいセンター ふれあいホール

参列者 101人

生活福祉課 保護係

1 生活保護法事務事業

被保護世帯数は、令和元年度末現在687世帯で、平成30年度末の700世帯と比較して、13世帯（1.86%）減少した。また、世帯人員は、令和元年度末現在962人で、平成30年度末の1,005人と比較して、43人（4.28%）減少した。

世帯類型では、高齢者世帯の構成比が50.66%となり、被保護世帯の高齢化が進んでいる。

(1) 被保護者の世帯・人員の状況

世帯類型	平成30年度		令和元年度		対前年度比 (%)
	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)	
高齢者世帯	349	49.86	348	50.66	△0.29
母子世帯	62	8.86	52	7.57	△16.13
障害者世帯	76	10.86	83	12.08	9.21
傷病者世帯	135	19.29	125	18.20	△7.41
その他の世帯	74	10.57	76	11.06	2.70
保護停止中世帯	4		3		
保護停止中人員	6		7		
世帯数合計	700		687		△1.86
人員合計	1,005		962		△4.28
保護率 (‰)	12.4‰		11.9‰		

※ 保護率：‰（パーミル）は、千分率であり、1,000人当たりの人員を示す。

(2) 月別生活保護受給状況（保護停止中を除く、現に保護を受けたもの）

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
世帯数	700	698	696	698	696	690	688	686	686	688	685	684
世帯人員	1,002	996	991	989	986	985	978	971	966	969	963	955

(3) 生活保護受給内訳（年度末累計）

区分	平成30年度		令和元年度	
	世帯数	人員	世帯数	人員
生活扶助	6,626	9,484	6,589	9,464
住宅扶助	6,618	9,311	6,589	9,241
教育扶助	615	868	562	867
介護扶助	1,551	1,661	1,689	1,784
医療扶助	7,283	9,402	7,199	9,227
出産扶助	0	0	0	0
生業扶助	357	406	310	377
葬祭扶助	12	12	7	7
保護施設事務費	93	138	88	88
合計	23,155	31,282	23,033	31,055

(4) 被保護世帯の労働力類型（年度末累計）

種別	高齢者世帯	母子世帯	傷病障害者世帯	その他の世帯	合計 (世帯)	医療単給世帯 (再掲)
世帯主が働いている世帯	149	323	409	318	1,199	17
世帯主は働いていないが世帯員が働いている世帯	24	44	123	94	285	4
働いている者がいない世帯	3,950	354	2,089	418	6,811	448
総数	4,123	721	2,621	830	8,295	469

(5) 医療扶助受給人員（病類別、年度末累計）

種 別	精 神 病	そ の 他	総 数
人 数	7 1 1	8, 4 8 3	9, 1 9 4

(6) 介護扶助受給人員及びサービス利用件数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人 員	142	144	144	148	150	149	150	142	154	155	153	153
利用件数	330	429	365	380	385	394	360	397	420	418	419	412

(7) 医療扶助受給人員（入院・入院外別）

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入院	69	74	72	69	73	64	60	62	61	64	56	57
入院外	722	717	713	710	682	689	712	695	702	698	687	686

(8) 医療扶助取扱件数

要否意見書	医療券				施 術 治療材料	検 診 命令
	入 院	入院外	調 剤	歯 科		
2,785	1,016	12,393	10,525	2,721	40	243

(9) 保護の概要及び取扱件数

相談件数	申請受理件数	保護決定件数 (うち職権保護)	却下件数	取下げ件数	廃止件数
2 2 7	1 0 1	7 8	1 9	6	9 3

2 就労支援の状況

(単位：件)

就労支援員との面接・相談支援	うち生活保護受給者等就労自立促進事業要請	就労件数
5 3	2 8	2 3

※ 生活保護受給者等就労自立促進事業：ハローワークが実施する就労自立促進事業

3 行旅死亡人等取扱状況

葬祭を執行する者がいない又は身元が判明しない死亡人の埋火葬を市が執り行った。

区 分	件数	費用（円）
身元判明者（葬祭執行者なし）	0	0
身元不明者	0	0
合 計	0	0

障がい者支援課 障がい者支援係

1 自立支援給付事業

(1) 障害福祉サービス費

区 分	サービス名	延べ件数	延べ日数	金額 (円)
介護給付費	居宅介護	1,068	6,775	40,064,773
	重度訪問介護	122	1,783	30,324,572
	行動援護	136	550	8,930,203
	同行援護	215	891	8,583,012
	療養介護	96	2,928	25,579,640
	生活介護	2,015	38,979	452,099,624
	短期入所	1,050	4,945	53,231,854
	施設入所支援	651	19,512	87,378,822
	介護給付費(計)	5,353	76,363	706,192,500
訓練等給付費	共同生活援助	1,309	36,655	247,695,768
	宿泊型自立訓練	21	508	2,321,089
	自立生活援助	1	4	12,274
	自立訓練(機能訓練)	1	7	52,381
	自立訓練(生活訓練)	41	468	3,989,826
	就労移行支援	179	3,196	32,028,275
	就労継続支援A	140	2,662	19,448,330
	就労継続支援B	2,064	35,003	249,982,643
	就労定着支援	33	34	936,128
	訓練等給付費(計)	3,789	78,537	556,466,714
相談支援給付費	計画相談支援	995		16,469,109
	地域移行支援	19	47	580,412
	地域定着支援	0	0	0
	相談支援給付費(計)	1,014	47	17,049,521
小 計		10,156	154,947	1,279,708,735
特定障害者特別給付費		1,800	17,037	17,249,353
合 計		11,956	171,984	1,296,958,088
都加算短期入所費		1,057	4,533	12,588,993
都加算グループホーム費(知的・精神)		1,175	35,700	77,478,478
総 合 計		14,188	212,217	1,387,025,559

(2) 補装具費

種 目	延べ件数	金額 (円)	
児 童	装 具	57	6,112,858
	座位保持装置	12	2,326,653
	補聴器	2	232,714
	車椅子	12	2,787,767
	起立保持具	3	553,384
	けい椎装具	1	20,231
小 計	87	12,033,607	
成 人	義 肢	4	851,172
	装 具	26	2,453,626
	座位保持装置	7	1,257,772
	盲人安全つえ	2	5,915
	眼鏡	2	58,296
	補聴器	26	1,474,520
	車椅子	30	4,422,679
	電動車椅子	7	1,540,210
	起立保持具	1	24,208
	歩行器	2	66,542
	歩行補助つえ	1	6,996
小 計	108	12,161,936	
合 計	195	24,195,543	

(3) 重症心身障害児(者)通所事業費

実人数	金額(円)
16	29,813,220

(4) 療養介護医療費

実人数	入院(人)	通院(人)	調剤(人)	金額(円)
8	8	0	0	7,118,547

(5) 高額障害福祉サービス費

実人数	助成額(円)
32	798,528

(6) グループホーム等家賃助成

実人数	助成額(円)
59	8,143,200

2 障害児施設給付事業

(1) 障害児通所給付費

区分	サービス名	延べ件数	延べ日数	金額(円)
障害児通所給付費	児童発達支援	334	1,722	20,476,724
	放課後等デイサービス	2,848	22,278	242,001,545
小計		3,182	24,000	262,478,269
障害児相談支援給付費	障害児相談支援	422		7,362,150
合計		3,604	24,000	269,840,419

(2) 高額障害児通所給付費

実人数	助成額(円)
28	493,071

3 地域生活支援事業

(1) 移動支援費

延べ件数	金額(円)
1,875	52,225,480

(2) 日中一時支援費

延べ件数	金額(円)
42	440,476

(3) 日常生活用具給付費

種目	延べ件数	金額(円)
ストマ装具	1,782	17,541,557
紙おむつ	180	2,044,800
その他	40	2,207,810
合計	2,002	21,794,167

(4) 福祉ホーム運営費助成

実人数	金額(円)
4	1,104,000

(5) 精神障害者社会復帰事業

ア 精神障害者地域活動支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額(円)
精神障害者地域生活支援センター フィレ	あきる野市二宮670番地5 秋川健康会館 2階	18,390,000

イ 地域活動支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額(円)
秋川虹の家	あきる野市油平247番地1	4,820,000

4 自立支援医療費

(1) 更生医療給付費

実人数	入院 (人)	通院 (人)	調剤 (人)	金額 (円)
35	6	33	24	60,126,221

(2) 育成医療給付費

実人数	入院 (人)	通院 (人)	調剤 (人)	金額 (円)
3	1	3	2	100,318

5 障がい者就労・生活支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額 (円)
あきる野市障がい者就労・生活支援センター	あきる野市秋川一丁目7番地6 リヴェール麗 2階	22,213,200

6 障害者相談支援事業運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額 (円)
あきる野市障がい者相談支援センター	あきる野市二宮670番地5 秋川健康会館 1階	8,650,000

障がい者支援課 障がい者相談係

1 障害者手帳に関する状況

(1) 身体障害者手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更新	再交付	住所変更	氏名変更	返還	合計
件数	164	38	17	116	4	172	511

(2) 身体障害者手帳所持者数（令和2年3月31日現在）

障害区分	等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
肢体不自由		272	250	220	312	85	75	1,214
聴覚言語等障害		23	53	45	52		59	232
視覚障害		51	46	7	14	19	6	143
内部障害		533	15	77	201			826
合計		879	364	349	579	104	140	2,415

(3) 愛の手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更新	再交付	住所変更	氏名変更	返還	合計
件数	22	22	8	31	6	26	115

(4) 愛の手帳所持者数（令和2年3月31日現在）

程度	1度	2度	3度	4度	合計
人数	24	157	174	372	727

(5) 精神障害者保健福祉手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更新	等級変更	記載事項変更	再交付	合計
件数	92	286	4	69	6	457

(6) 精神障害者保健福祉手帳所持者数（令和2年3月31日現在）

等級	1級	2級	3級	合計
人数	64	418	234	716

2 障害福祉サービス及び障害児通所支援に関すること

(1) 障害福祉サービスの支給決定の状況（令和2年3月31日現在）

受給者証交付者数593人（うち児童70人）

	成人	児童	合計
身体介護	34	8	42
家事援助	60	1	61
通院介助	30	2	32
重度訪問介護	4	0	4
同行援護	18	0	18
行動援護	7	4	11
短期入所	133	69	202
生活介護	171	0	171
施設入所支援	56	0	56
グループホーム	117	0	117
就労継続支援A型	10	0	10
就労継続支援B型	192	0	192
就労移行支援	18	0	18
自立訓練	5	0	5
自立生活援助	0	0	0

療 養 介 護	9	0	9
計 画 相 談 支 援	4 9 8	6 9	5 6 7

※ サービスの重複利用を含む。

(2) 障害児通所支援によるサービスの給付決定の状況（令和2年3月31日現在）

受給者証交付者数 182人

	身体障がい児	知的障がい児	精神障がい児	合 計
児 童 発 達 支 援	6	9	1 6	3 1
放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	3 0	8 9	5 8	1 7 7
障 害 児 相 談 支 援	3 6	9 8	7 4	2 0 8

※ 障害種別の重複を含む。

3 地域生活支援事業に関すること

(1) 重度心身障害者（児）日常生活用具給付等事業の状況

在宅の重度の心身障がい者（児）に対して、日常生活の便宜を図るため、用具を給付した。

	給付決定人数	給付品数
ストマ装具	1 5 1	1 6 1
紙おむつ	1 5	1 5
その他（頭部保護帽等）	4 1	4 1

(2) 手話の普及等に関すること

ア 手話通訳者等派遣事業の状況

聴覚、音声機能又は言語機能の障害により、家庭生活及び社会生活を営む上で支障がある場合に手話通訳者を派遣した。

	利用実人数	利用回数	延べ時間数	金 額（円）
要約筆記	0	0	0時間00分	0
手話通訳（社会福祉協議会・東京手話通訳等派遣センター）	4	5 4	9 5時間5 4分	3 5 2, 1 0 0

イ 登録手話通訳者に対する研修会

後輩手話通訳者へのアドバイスの仕方をもとに、通訳現場での問題点や事例検討を行った。

開催日 第1回 令和2年1月25日 参加者数 5人

第2回 3月4日 参加者数 2人

講 師 東京手話通訳等派遣センター 養成・研修課 河野光子氏

ウ 手話奉仕員養成講座

手話通訳士・東京都認定登録手話通訳者の講師を招き、手話の初級・中級及び初級・中級講座修了者を対象とした上級・応用を学ぶことを通じて手話の普及を図るとともに、手話奉仕員の養成を図った。

期間	実施回数	1回当たりの時間	受講生数	
平成31年4月1日から 令和元年9月30日まで	2 0	2時間	初級・中級	1 7人
			上級・応用	1 2人
令和元年10月1日から 令和2年3月31日まで	1 7	2時間	初級・中級	1 2人
			上級・応用	1 0人

(3) 移動支援事業及びその他の事業の給付決定状況

受給者証交付者数 307人（うち児童72人）

	移動支援事業	日中一時支援事業	合 計
身 体 障 が い 者	8 4	1 0	9 4

知的障がい者	179	22	201
精神障がい者	19	0	19
児童	72	6	78

※ 障害種別及び給付事業の重複を含む。

(4) 自動車運転教習費助成事業の状況

心身障がい者の社会参加を促進するため、自動車運転免許取得経費の一部を助成するものだが、実績がなかった。

(5) 自動車改造費助成事業の状況

重度身体障がい者の社会復帰の促進を図るため、重度身体障がい者が就労等に伴い自動車を取得する際に自動車の改造に要する費用の一部を助成した。

給付件数	給付金額(円)
4	535,600

4 重度身体障害者(児)住宅設備改善費給付事業の状況

在宅の重度の身体障がい者(児)に対して、日常生活の利便を図るための住宅設備改善に要する費用の一部を助成した。

給付件数	給付金額(円)
2	1,042,099

5 精神保健福祉に関する個別援助の状況

	居宅生活支援事業等の利用に関する相談		精神保健福祉相談		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
来所	15	23	23	66	38	89
電話	5	33	19	185	24	218
訪問	13	22	19	43	32	65
関係機関連絡	13	230	41	579	54	809
合計	46	308	102	873	148	1,181

6 医療費助成に関すること

(1) 心身障害者医療費助成の状況

受給者の状況(令和2年3月31日現在)

加入保険種別	受給者数	住民税非課税者(再掲)
国民健康保険	441	371
社会保険	224	138
後期高齢	141	141
合計	806	650

(2) 障害者医療費助成の状況

ア 自立支援医療費(精神通院)支給認定申請の状況

在宅の精神障がい者に対し適正な医療を普及するため、通院医療費の補助を行った。

(ア) 自立支援医療費(精神通院)支給認定者数 1,385人

(イ) 自立支援医療費(精神通院)申請件数

区分	新規承認	更新・再開	追加交付	認定内容変更	他道府県転入	記載事項変更	合計
件数	130	1,294	47	251	8	356	2,086

イ 自立支援医療費（更生医療）支給認定申請の状況

身体障がい者に対して、障害を除去又は軽減し、日常生活能力、職業能力を回復、獲得させるための医療を給付した。

区 分	給付決定人数
じ ん 臓 機 能 障 害	24
免 疫 機 能 障 害	8
肢 体 不 自 由	1
音声・言語・そしゃく機能障害	1
合 計	34

ウ 自立支援医療（育成医療）支給認定申請の状況

身体障がい児や将来障害を残すと認められる疾患がある児童に対して、障害を除去又は軽減し、日常生活能力を回復、獲得させるための医療を給付した。

区 分	給付決定人数
音声・言語・そしゃく機能障害	1
心 臓 機 能 障 害	2
小 腸 機 能 障 害	1
そ の 他 内 臓 障 害	1
合 計	5

エ 小児精神障害者入院医療費助成の状況

区分	新規申請	継続申請	記載事項変更	合 計
件数	1	1	0	2

7 難病医療費等助成、難病患者支援事業

(1) 難病医療費等助成申請の状況

区分	新規	更新	変更届	再交付	重症申請	その他	返 還	合 計
件数	161	782	161	6	0	6	161	1,277

(2) 対象者数（令和2年3月31日現在）

分 類	病 名	対象者数
神経・筋疾患	パーキンソン病	100
	その他（15疾病）	100
免疫系疾患	全身性エリテマトーデス	44
	その他（14疾病）	60
消化器系疾患	潰瘍性大腸炎	81
	その他（3疾病）	35
視覚系疾患	網膜色素変性症	19
血液系疾患	特発性血小板減少性紫斑病 その他（2疾病）	12
内分泌系疾患	下垂体前葉機能低下症 その他（4疾病）	23
呼吸器系疾患	特発性間質性肺炎 その他（3疾病）	20
皮膚・結合組織疾患	全身性強皮症 その他（5疾病）	13
骨・関節系疾患	後縦靭帯骨化症 その他（4疾病）	53
循環器系疾患	特発性拡張型心筋症 その他（3疾病）	16
腎・泌尿器疾患	一次性ネフローゼ症候群 その他（3疾病）	21
代謝系疾患	全身性アミロイドーシス その他（1疾病）	2
東京都単独の対象疾病	母斑症 その他（2疾病）	3
特殊医療	人工透析を必要とする腎不全	182
	先天性血液凝固因子欠乏症等	5
合 計	74疾病	789

(3) B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成制度申請の状況

対象治療法	実人数
B・C型ウイルス肝炎インターフェロン	0
B型ウイルス肝炎核酸アナログ製剤	41
C型ウイルス肝炎インターフェロンフリー	8
肝がん・重度肝硬変	1
合計	50

(4) 難病患者支援事業利用状況

支援内容	実人数
難病医療費助成申請時の面談	63
難病療養・生活相談	82
家庭等訪問相談	0
就労相談	0
合計	145

(5) 難病講演会

「後縦靭帯骨化症～最新情報と病状に応じた生活の工夫～」

開催日 令和元年10月24日 参加者数 36人

講師 東京都立神経病院 脳神経外科 医師 高井敬介氏

8 あきる野市障がい者相談支援センター

障がい者（児）からの相談に対応し、当事者の社会復帰や社会参加の促進を図り、地域で安定した生活を営むことができるように支援した。

(1) 相談支援を利用している障がい者（児）の人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	実人数	
身体障がい	者	2	7	4	7	7	17	16	8	14	13	3	6	104	32
	児	0	6	4	4	0	1	0	0	1	0	2	0	18	8
知的障がい	者	14	11	15	11	10	10	19	24	19	23	14	14	184	52
	児	0	5	5	1	2	0	4	2	0	3	2	3	27	12
精神障がい	者	71	78	86	82	84	92	81	67	68	67	70	79	925	266
	児	2	1	2	2	2	1	3	5	3	3	1	1	26	6
発達障がい	者	14	13	14	17	14	20	22	18	17	11	14	23	197	43
	児	0	0	5	3	0	5	1	4	2	3	2	2	27	17
高次脳機能障がい	者	5	8	2	1	0	0	0	2	5	3	0	0	26	11
	児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難病患者	者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
小計 (障がい者)		106	117	121	118	115	139	138	119	123	117	101	122	1,436	404
小計 (障がい児)		2	13	16	10	4	7	8	11	6	9	7	6	99	44
合計		108	130	137	128	119	146	146	130	129	126	108	128	1,535	448

(2) 相談支援に関する個別援助の状況

開所日数 289日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
来所相談（面接）	47	68	70	66	63	67	72	48	46	33	43	54	677
電話相談	187	242	227	239	278	289	279	286	236	223	203	235	2,924
訪問	3	7	9	4	3	6	13	2	1	2	0	2	52

関係機関連絡調整	74	168	119	130	143	140	154	157	106	92	83	61	1,427	
同 行	3	7	9	17	20	3	11	9	4	7	12	4	106	
ケースカンファレンス	5	6	7	14	9	25	10	3	12	13	4	4	112	
文書 (電子メール以外)	2	4	5	6	4	6	3	3	3	3	1	1	6	44
文書 (電子メール)	114	80	25	37	14	12	17	11	4	14	5	8	341	
合 計	435	582	471	513	534	548	559	519	412	385	351	374	5,683	

9 精神障害者地域活動支援センター事業

精神障がい者の日常生活の支援、家族も含めた相談支援、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の社会復帰、自立と社会参加の促進を図った。

(1) 地域活動支援センターⅠ型（精神障害者地域活動支援センターフィレ）事業活動内容

登録者数 104 人

内 容	実施回数	利用者数
グループ活動	110	625 (1回平均 5.7人)
生産活動	236	3,247 (1回平均 13.8人)
オープンスペース	289	1,045 (1回平均 3.6人)

(2) 地域活動支援センターⅢ型（秋川虹の家）事業活動内容

登録者数 16 人

内 容	実施回数	利用者数
施設利用	250	581
日中活動支援	238	18
創作的活動支援	22	1
社会との交流促進支援	72	9

10 手当支給の状況

心身障害者福祉手当・特別障害者手当等の支給状況

手当の名称	延べ支給人数	支給額 (円)
心身障害者福祉手当	19,596	213,944,000
特別障害者手当	1,014	27,537,640
障害児福祉手当	460	6,806,850
経過的福祉手当	12	177,200
合 計	21,082	248,465,690

11 各種助成事業の状況

(1) 心身障害者(児)交通費等助成金支給事業の状況

心身障がい者(児)の通院及び生活圏拡大のために利用する電車、バス、タクシー等の運賃及び自家用車のガソリン等の燃料費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し福祉の向上を図った。(1人当たり月額 2,400円)

延べ支給人数	支給額 (円)
18,826	45,182,400

(2) 心身障害者(児)おむつ等給付事業の状況

心身障がい者(児)に対し、おむつ代の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し福祉の向上を図った。(1人当たり月額上限5,000円の現物支給)

延べ支給人数	支給額（円）
892	4,025,150

(3) 心身障害者（児）水道料金助成事業の状況

心身障がい者（児）がいる世帯に対し、水道料の基本料金を助成し、経済的負担の軽減と生活の安定及び福祉の向上を図った。（年2回支給）

延べ助成世帯数	助成額（円）
96	625,542

12 重度脳性麻痺者介護事業の状況

重度の脳性麻痺者を介護し、生活圏の拡大を図るための援助を行い、重度脳性麻痺者の福祉の増進を図った。

実介護人数	延べ介護日数	介護人手当額（円）
5	720	4,723,200

13 重度心身障害者（児）入浴サービス事業の状況

家庭において入浴することが困難な重度心身障がい者（児）に契約施設において入浴サービスを行うことにより、重度心身障がい者（児）の身体の清潔を保つとともに、家族の介護及び経済的負担の軽減を図った。（利用料4,500円、自己負担額500円）

実施施設	延べ利用人数	事業委託費（円）
あすなるみんなの家	367	1,651,500
福 楽 園	0	0
西多摩療育支援センター	145	652,500
合 計	512	2,304,000

14 訪問入浴サービス

自宅の浴槽及び施設での入浴が困難な在宅の重度身体障害者（児）及び難病患者に対し、訪問入浴サービスに要する費用を支給することにより、身体の清潔を保つとともに、家族の介護及び経済的負担の軽減を図った。（利用料11,106円、自己負担額1,234円）

利用者数	利用回数	事業委託料
1	101	1,121,706

15 身体・知的障害者相談員の活動状況

(1) 相談

相談内容	件数
愛の手帳申請関係	3
養育に関すること	12
生活に関すること	12
施設入所等に関すること	3
就職に関すること	1
年金・手当・保険に関すること	3
その他（イベントの参加等）	26

(2) 地域活動

活動内容	件数
諸会合、指導、地域活動等	13

16 あきる野市障がい者就労・生活支援センター

(1) 障がい者就労・生活支援センター事業

ハローワーク等関係機関と連携し、求職活動の同行・職場見学や面接の同行・会社や家庭との連携・各種事務手続等の支援を行った。安定した生活を送るため、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための支援等を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
相談	電話	274	234	234	276	235	187	258	205	225	218	256	293	2,895
	来訪	91	72	75	60	59	62	74	77	62	49	77	75	833
	訪問	47	45	46	47	24	17	30	17	35	14	29	27	378
合計(件)	412	351	355	383	318	266	362	299	322	281	362	395	4,106	
来訪者数(人)	68	102	64	77	82	76	68	81	62	71	64	40	855	

(2) 障がい者職場体験実習事業

企業等への就労を希望する障がい者に対し、あきる野市役所及びあきる野市の施設において、職場体験の実習の機会を提供することにより、障がい者の就労に対する意欲を高め、自立した生活と社会参加の促進を図ることを目的とし実施した。(4月、8月、12月は実施なし)

実施月に、おおむね5日間の実習を行った。

実施月	5	6	7	9	10	11	1	2	3	合計
実習人数	2	2	2	2	1	2	2	2	2	17

17 介護給付費等支給審査の状況

(1) 介護給付費等支給審査会開催の状況

審査会委員数	年間開催回数	審査件数
5	12	151

(2) 障害支援区分認定者の状況

(単位：人)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
身体障がい者	0	3	9	8	10	18	48
知的障がい者	1	10	12	23	21	27	94
精神障がい者	1	19	4	1	2	0	27
難病患者	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	32	25	32	33	45	169

※審査件数に対する障害支援区分認定者の障害種別状況(重複有)

18 地域自立支援協議会

(1) 活動内容

障害のあるなしにかかわらず相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、地域の課題を整理しながら、基盤の整備・推進を図り、課題の解決に向けた協議の場とし、以下の活動を行った。

- ア 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立性及び公平性の確保と事業評価に関すること。
- イ 困難事例への対応の在り方に関すること。
- ウ 地域の関係機関によるネットワーク構築等に関すること。
- エ 障害者等の権利擁護に関すること。
- オ 地域の障害者等を支える人材の育成に関すること。

(2) 全体会、各部会の活動状況

名 称	開催回数	主な内容
全 体 会	3	・地域自立支援協議会事業報告、年度計画発表 ・障害福祉サービス実績報告 ・各部会の活動報告
くらす部会	3	・自立に向けての意見交換 ・消費生活相談員の講話 ・成年後見等についての講話
そうだん部会	3	・計画相談の新規受入状況等について意見交換 ・個別支援事例検討
こども部会	3	・携帯電話の使い方について意見交換 ・各事業所での課題について情報共有
はたらく部会	3	・事業所見学のシステムづくり ・ハローワーク青梅から就労状況報告 ・あきる野夏まつり・あきる野産業祭の参加に関する意見交換

(3) 研修

ア 全体研修

「障害理解の促進のために」～どう自分事にしていくか。番組制作の視点から～

開催日 令和元年9月26日 参加者数 62人

講 師 NHK制作局 第3制作ユニット・福祉 チーフ・プロデューサー 真野修一氏

イ 障害理解講座

「障がいのある方が地域で暮らすということ」

開催日 令和2年1月28日 参加者数 39人

講 師 知的・身体・精神各障がいのある方と重症心身障がいのある方のご家族

19 障害者虐待防止事業

(1) 障害者虐待防止ネットワーク会議

障がい者虐待の予防や早期発見、虐待を受けた障がい者の保護及び養護者に対する支援を適切に実施するため、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」第35条の規定に基づき、市内の関係機関、民間団体等との連携協力体制を整備することを目的に、あきる野市障害者虐待防止ネットワーク会議を開催した。

開催日	出席者	主な内容
令和元年7月 2日	15人	・障がい者虐待対応の報告について ・事業計画について
令和2年2月12日	12人	・事業実績報告について ・障がい者虐待対応の報告について

(2) 障害者虐待防止事業

障がい者に対する虐待の防止を図るため、関係機関との研修等を通じ、障害者虐待防止法の周知と正しい理解の普及を図った。

ア 障がい者虐待防止研修会

障がい者虐待に対する理解を深めるため、研修会を実施した。

開催日 第1回 令和元年10月17日 参加者数 28人

第2回 11月21日 参加者数 38人

講 師 駒沢女子大学 非常勤講師 乙幡美佐江氏

イ 防犯・不審者対策講座

障がい者に虐待等危機があると知った場合に、警察署へ相談、通報することができるように

なることを目的に、障害者支援施設の事件を踏まえた防犯・不審者対策を兼ねて実施した。

開催日 令和2年1月30日 参加者数 11人

講師 福生警察署 署員

(3) 障がい者虐待防止センター事業

障害者虐待防止法の規定に基づき、市及びあきる野市障害者虐待防止センターにおいて、障がい者虐待の防止及び養護者に対する支援を実施した。

ア 虐待通報件数 13件

イ 虐待の種類別件数

虐待の種類（通報内容による）	件数
養護者からの虐待	6
福祉従事者等からの虐待	4
使用者からの虐待	3
合計	13

ウ 虐待の内容別件数

虐待の内容（通報内容による）	件数
身体的虐待	6
性的虐待	2
心理的虐待	9
放棄・放置	3
経済的虐待	1
合計	21

※ イの虐待の種類別件数に対する虐待の内容（重複有）

エ 虐待通報への対応状況

対応内容	件数
コア会議の開催	14
訪問	6
来所相談	2
他機関通報	5
合計	27

20 障がい者福祉計画推進委員会

「あきる野市障がい者福祉計画」の推進等に関する必要な事項について検討を行った。

(1) 委員数 11人

(2) 開催状況

回	開催日	主な内容
第1回	令和元年 7月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・障害や障がい者に対する理解の促進について ・意思疎通支援の充実について ・地域包括ケアシステム、地域生活支援拠点等の整備について ・障害児支援の提供体制の整備等について ・アンケート調査の内容について
第2回	11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・あきる野市障がい者防災・スポーツフェア2019の報告について ・アンケート調査の内容について
第3回	令和2年 2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者週間について ・手話講座について ・防犯・不審者対策講座について ・アンケート結果の速報

21 障害者ふれあいスポーツ交流事業

東京2020パラリンピック競技大会に向けたスポーツ活動への参加促進と機運の醸成、東日本大震災を踏まえた防災意識の醸成等を図ることを目的として、障がい者と子どもたちが防災とスポーツを一体的に体験できるイベント「あきる野市障がい者防災・スポーツフェア2019」を開催した。

開催日 令和元年9月21日 午前9時30分から午後2時まで

開催場所 都立秋留台公園、秋川体育館

協力機関・団体 14団体

参加者数 延べ3,364人

22 高次脳機能障害者支援事業

高次脳機能障がい者やその家族等に対し、適切な支援を行うとともに、高次脳機能障害教室を開催し、高次脳機能障害に対する正しい理解の促進を図った。また、本教室に当事者を招くことで、貴重な体験談を聞ける機会を設けた。

「高次脳機能障害って何？体験を通して理解してみよう」

開催日 令和元年10月10日 参加者数 36人

講師 東京都心身障害者福祉センター 高次脳機能障害者支援担当 守矢亜由美氏

高齢者支援課 高齢者支援係

1 在宅サービスセンターの指定管理者による管理

指定管理者 医療法人財団暁

指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日

施設名称	指定管理委託料 (円)	延べ利用者数	
		高齢者生きがい活動支援通所事業	げんき応援事業
萩野センター	14,055,000	3,157	2,723
開戸センター	13,567,000	2,946	3,188
五日市センター	13,882,000	2,120	3,020

2 高齢者福祉電話事業

高齢者の日常生活上の不安感、孤独感の解消や安否確認のために、電話の貸与及び維持費(基本料金等)を助成した。

(1) 貸与件数

月	貸与(世帯)	保管(台)	月	貸与(世帯)	保管(台)	月	貸与(世帯)	保管(台)
4	9	7	8	9	7	12	11	5
5	9	7	9	10	6	1	11	5
6	9	7	10	10	6	2	11	5
7	9	7	11	11	5	3	10	6

(2) 定額料金等の維持費助成件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	109	109	107	105	103	103	103	105	106	105	103	102	1,260

3 敬老の日事業

(1) 町内会・自治会敬老行事推進事業助成

町内会等が主催した敬老行事に要する経費の一部を補助した。

ア 交付町内会等 85団体

イ 補助額 9,718,296円

(2) 100歳到達者に祝辞と記念品贈呈

100歳に到達した方に敬意と感謝の意を表し、祝辞と1万円相当の記念品を贈呈した。

対象者数 37人

(3) 最高齢者に祝辞と祝い金贈呈

市内に居住する最高齢者(男性)、在宅最高齢の男性及び在宅最高齢の女性に祝辞と祝い金(各1万円)を贈呈した。

4 高齢者クラブ活動助成事業

老後の生活を健全で豊かなものにし、高齢者の福祉の増進に資することを目的として活動している高齢者クラブに運営費を助成した。

(1) クラブ数、会員数等(平成31年4月1日現在)

ア クラブ数 46クラブ

イ 会員数 3,169人(補助対象人数3,167人)

ウ 補助額 13,741,716円

(2) 高齢者クラブ連合会補助

補助額 2,223,000円

5 高齢者配食サービス事業

居宅において調理が困難な高齢者に対し、定期的に訪問して栄養のバランスのとれた昼食を提供するとともに、安否の確認を行った。

(1) 延べ配食数 17,384食

(2) 延べ利用者数 1,253人

6 高齢者緊急通報システム事業（令和2年3月31日現在）

65歳以上のひとり暮らし等の高齢者で、慢性疾患等のため常時注意が必要な方に、緊急通報機器を貸与し、生活の安全の確保を図った。

(1) 消防通報世帯数 2世帯

(2) 消防通報の協力員 3人

(3) 民間通報世帯数 113世帯

7 高齢者おむつ等給付事業

65歳以上で、おむつ等を使用している要支援1から要介護5までの方に、月額5,000円の現金助成及び月額5,000円を限度としておむつの現物を給付した。（ただし、介護保険法上の施設サービス利用者を除く。）

(1) 現金支給

ア 延べ人数 3人

イ 助成額 60,000円

(2) 現物給付

ア 延べ人数 7,586人

イ 助成額 31,992,659円

8 高齢者自立支援住宅改修給付事業

高齢者の居住する住宅の改修を給付することにより、在宅生活における日常動作の容易性、行動範囲の拡大の確保等を図った。

(1) 浴槽の取替え及び給湯設備の改修等 4件

給付額 1,364,400円

(2) 流し及び洗面台の取替え等 4件

給付額 556,596円

(3) 便器の洋式化等 1件

給付額 95,400円

(4) 手すりの取り付け等 1件

給付額 124,200円

9 高齢者自立支援日常生活用具給付事業

高齢者に対し、自立した生活の確保や日常生活の便宜を図り、安心して在宅生活を送ることができるよう日常生活用具の給付を行う。

電磁調理器 4件
給付額 75,814円

10 水道料助成事業

高齢者世帯に対し、水道料の基本料金を助成することにより、経済的負担の軽減と生活の安定を図った。

- (1) 助成延べ世帯数 2,401世帯
- (2) 助成額 2,594,306円

11 高齢者見守り事業

高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の方や配達業者等による見守りを実施した。

- (1) 申請による見守り事業

地域別利用世帯数（令和2年3月31日現在）

事業名	東秋留	多西	西秋留	増戸	五日市	戸倉	小宮	合計
地域見守り	24	10	8	8	9	0	1	60
乳酸菌飲料配達見守り	26	11	18	9	8	0	1	73
新聞配達見守り	20	9	23	10	10	1	2	75
郵便配達見守り	24	19	19	13	12	1	2	90
一般廃棄物収集見守り	16	15	12	10	11	1	0	65
合計	110	64	80	50	50	3	6	363

- (2) 各事業者の業務の範囲内における緩やかな見守り事業

協力事業者数 31事業者（令和2年3月31日現在）

12 小宮ふれあい交流事業（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

小宮地区在住の高齢者が小宮ふるさと自然体験学校（旧小宮小学校）を利用し、交流事業を通じて、いつまでも地域で元気に生活し続けられることを目的に事業を実施した。

- (1) 実施回数 41回
- (2) 延べ参加者数 535人
- (3) 医師による健康相談 3回
- (4) 歯科医師による歯科口腔相談 3回

13 福祉サービス総合支援事業及び成年後見活用あんしん生活創造事業

福祉サービスの利用者等の相談、苦情対応、支援等を実施することにより、福祉サービスの利用者等が安心して適切な福祉サービスを選択し、利用できるよう支援を行った。

- (1) 利用者サポート（原則として月～金に相談員を設置し、相談及び対応した。）
相談対象者数 118人 延べ対応件数 894件
- (2) 専門相談の実施（司法書士による専門相談を行った。） 6回 15件
- (3) 成年後見活用あんしん生活創造事業 198件
- (4) 成年後見人等の支援（親族後見人等連絡会等を行った。） 2回 137人

(5) 地域ネットワークの活用（地域の関係者や関係機関との連携を図った。）

(6) 運営委員会の開催 2回

14 老人保護措置事業

(1) 老人福祉法第11条に基づく措置状況（令和2年3月31日現在）

養護老人ホーム等

施設名	措置人員
松 楓 園	2
万世敬老園	1
聖明園曙荘	1
竹の里	1
やむを得ない措置	0
合 計	5

(2) 老人福祉法第11条に基づく老人ホーム入所者の措置費支払状況

区 分	施設数	延人数	支払額（円）
養護老人ホーム	8	87	13,541,694
特別養護老人ホーム	0	0	0

(3) 老人福祉法第11条の2に基づく老人ホーム入所者の葬祭費支払状況

件数 1件

葬祭費 32,570円

(4) 老人福祉法第28条及びあきる野市老人福祉法施行細則第7条に基づく費用徴収額の状況

養護老人ホーム（現年度分）

（費用徴収額については、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの分）

区 分	延べ人数	調定額（円）	過年度収入未済分 調定額（円）	収入額（円）
被措置者	68	4,547,693	0	4,547,693

(5) 入所判定委員会

委員会開催 2回（うち書面開催1回）

15 地域包括支援センター事業

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に、市内3か所に設置し、介護予防の拠点として、高齢者本人や家族からの相談に対応し、介護、福祉、医療、虐待防止などの必要な支援を継続的に行った。

(1) 施設名及び担当地域等

センター名	担当地域					運営事業者
東部高齢者 はつらつ センター	雨間 野辺	小川 小川東	二宮 二宮東	平沢 平沢東 平沢西	切欠 秋留	医療法人財団暁
中部高齢者 はつらつ センター	草花 菅生	瀬戸岡 原小宮	引田 湧上	上代継 下代継	牛沼 油平 秋川	医療法人財団暁
五日市はつらつ センター	山田 上ノ台 網代 伊奈	横沢 三内 五日市 小中野	小和田 留原 高尾 館谷	入野 深沢 戸倉 乙津	養沢 小峰台 館谷台	社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会

(2) 総合相談事業

主に、介護保険、福祉サービス、虐待、権利擁護、医療、生活、年金、病状、家族、近隣に関することなどの相談に応じた。
(単位：件)

施設名	来所	電話	訪問	合計
東部高齢者はつらつセンター	168	1,239	235	1,642
中部高齢者はつらつセンター	264	2,336	389	2,989
五日市はつらつセンター	403	1,580	294	2,277
合計	835	5,155	918	6,908

(3) 権利擁護事業

項目	東部高齢者はつらつセンター	中部高齢者はつらつセンター	五日市はつらつセンター	合計
高齢者虐待と捉えた人数	0	4	7	11
成年後見に関する相談件数	10	4	8	22
消費者被害防止に関する相談件数	0	1	8	9
高齢者専門法律相談会の実施	年6回			18人
権利擁護に関する研修会等の実施	2回			65人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

ア 包括的・継続的なケア体制の構築

高齢者クラブ理事会・民生委員協議会・ふれあい福祉委員研修会等への出席

イ 日常的個人指導・相談

(ア) 介護支援専門員からの相談 111件

(内訳) 東部高齢者はつらつセンター 34件、中部高齢者はつらつセンター 45件、五日市はつらつセンター 32件

(イ) 各種研修の開催

介護支援専門員研修会等 2回 97人参加

ウ 支援困難事例への指導・助言

(ア) 専門員相談会の開催

全12回(法律相談、こころの相談、家族相談、在宅医療相談等) 29件

(イ) 困難事例対応 40件

(内訳) 東部高齢者はつらつセンター 17件、中部高齢者はつらつセンター 12件、五日市はつらつセンター 11件

(5) 介護予防支援

施設名	区分	認定区分	4月1日現在 担当数	委託事業所数
東部高齢者はつらつセンター	委託	要支援1	3	17
		要支援2	19	
	包括	要支援1	17	
		要支援2	46	
	小計			85
中部高齢者はつらつセンター	委託	要支援1	7	19
		要支援2	23	
	包括	要支援1	25	
		要支援2	47	
	小計			102
五日市はつらつセンター	委託	要支援1	10	14

		要支援 2	17	
	包括	要支援 1	29	
		要支援 2	38	
	小計		94	
合計			281	

(6) 介護予防ケアマネジメント

施設名	区分	認定区分	4月1日現在 担当数
東部高齢者はつらつセンター	委託	事業対象者	0
		要支援 1	5
		要支援 2	3
	包括	事業対象者	7
		要支援 1	14
		要支援 2	34
小計		63	
中部高齢者はつらつセンター	委託	事業対象者	0
		要支援 1	2
		要支援 2	7
	包括	事業対象者	8
		要支援 1	25
		要支援 2	44
小計		86	
五日市はつらつセンター	委託	事業対象者	4
		要支援 1	5
		要支援 2	12
	包括	事業対象者	12
		要支援 1	5
		要支援 2	15
小計		53	
合計			202

16 認知症初期集中支援チーム運営事業

	東部高齢者 はつらつセンター	中部高齢者 はつらつセンター	五日市 はつらつセンター	合計
対象者数(実人数)	3	3	6	12

17 介護予防事業対象者施策

(1) 介護予防把握事業

(単位：人)

	東部高齢者 はつらつ センター	中部高齢者 はつらつ センター	五日市 はつらつ センター	合計
介護予防把握事業対象者数	304	347	261	912
利用勧奨対象者数	53	58	49	160
介護予防事業につながった者	6	25	0	31
相談支援等につながった者	17	10	5	32

(2) 通所介護予防事業

ア 整骨院による運動機能向上トレーニング

3か月1クール、利用者57人

イ 保健師による訪問
利用者 2 人

18 一般介護予防事業施策

介護予防普及啓発事業

(1) 高齢者クラブ、町内会・自治会等からの依頼により各種講座を実施した。

テーマ：介護保険・介護予防など

地 区	箇所数	参加者数
秋川地区	4	1 1 4
五日市地区	8	8 6 1
合 計	1 2	9 7 5

(2) 公募型歯科予防講座 「シニアのためのビューティーケア」

参加者 2 8 人

(3) 頭シャキッと教室

1 2 回コースを 3 回、参加者 5 6 人

(4) サロン型介護予防事業

介護老人福祉施設 2 か所 実施回数 9 3 回

延参加者 1, 2 6 1 人

(5) はつらつ元気アップ教室

9 回コースを 6 回、参加者 9 9 人（利用勧奨対象者含む）

19 地域介護予防活動支援事業

(1) 介護予防リーダー育成講座 1 2 回コースを 1 回、参加者 1 5 人

(2) 介護予防リーダー育成講座 スキルアップ講座 参加者 2 1 人

(3) 介護予防リーダー育成講座 情報交換会 参加者 2 5 人

(4) 地域介護予防活動支援事業補助

ア グループ数 1 グループ

イ 補助額 1 1 6, 4 4 2 円

20 介護支援ポイント事業

高齢者がボランティア活動を通して地域に貢献することを奨励及び支援することで、健康の維持を促進するとともに、生き生きと元気に暮らすことができる地域社会をつくることを目的に実施した。

登録者数 3 7 人

21 地域包括支援センター運営協議会の開催状況

(1) 目的

地域包括支援センターの適切な運営並びに公正及び中立性を確保するため

(2) 委員

保健医療関係者 2 人、福祉関係者 3 人、学識経験者 1 人、介護保険の被保険者 2 人、市職員 1 人 合計 9 人

(3) 開催状況

- ア 第1回 令和元年 6月18日開催
- イ 第2回 11月11日開催
- ウ 第3回 令和2年 3月27日開催（書面開催）

22 高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催状況

(1) 目的

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援を適切に実施するため、市内の関係機関、民間団体等との連携協力体制を整備する。

(2) 委員

福祉関係者3人、保健医療関係者2人、法律関係者1人、地域コミュニティ関係者1人、人権擁護関係者1人、関係機関の職員6人、市職員1人 合計15人

(3) 開催状況

- ア 第1回 令和元年 7月22日開催
- イ 第2回 11月 1日開催
- ウ 第3回 令和2年 3月24日（新型コロナ対策のため中止）

23 地域ぐるみの支え合い推進協議体の開催状況

(1) 目的

高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できることを目的に、地域における高齢者の生活支援及び介護予防の担い手と連携した多様な支援体制を整備する。

(2) 委員

保健福祉関係者3人、高齢者生活支援等事業者5人、地域コミュニティ関係者4人、生涯学習団体関係者4人、関係機関の職員3人、市職員1人 合計20人

(3) 開催状況

- ア 第1回 令和元年 6月28日開催
- イ 第2回 10月 1日開催
- ウ 第3回 令和2年 2月10日開催
- エ 第4回 2月21日開催

24 任意事業

(1) 介護教室

高齢者を介護する家族等を対象に、適切な介護知識・技術を習得してもらうことを目的に実施した。

全9回 参加者数計152人

(2) 認知症高齢者見守り事業

- ア 認知症サポーター養成講座 全21回 1,403人
- イ 認知症サポーターステップアップ講座 2回 21人
- ウ 認知症高齢者等位置情報探索サービス事業 16人（令和2年3月31日現在）
- エ 高齢者等見守りキーホルダー登録事業 138人（令和2年3月31日現在）
- オ お守りアイロンシール登録事業 56人（令和2年3月31日現在）

カ 認知症カフェ運営事業補助

カフェ数 1か所

補助額 59,416円

(3) 家族介護慰労金支給事業

重度要介護高齢者を介護する同居の家族に対して慰労金を支給することにより、身体的、精神的及び経済的な負担の軽減並びに重度要介護高齢者の在宅生活の継続と向上を図ることを目的に実施する。

支給件数 0件

(4) 福祉用具・住宅改修支援事業

相談、情報提供などを行うとともに、住宅改修費の支給の申請に係る理由書を作成した場合の経費を助成する。

経費助成件数 1件

(5) 市長による成年後見審判申立て

ア 本人の判断能力が不十分であり、成年後見制度の利用が必要だが、申立人となる親族がいない場合等、市長による申立てを行う。

申立件数 3件

イ 市長による申立てを行った場合に、成年後見人等に対する報酬の支払が困難である者に対し、報酬の支払に係る費用の全部又は一部を助成する。

報酬費用助成 3件 542,000円

25 高齢者特殊眼鏡・コンタクトレンズ助成事業

老人性白内障のため水晶体の摘出手術を行ったが、眼内レンズ挿入術を受けられない高齢者に対し、特殊眼鏡、コンタクトレンズを購入する費用の一部を助成する。

助成件数 0件

26 農援隊事業

「ふれあい いきがい 元気なまち」健康推進事業として、おおむね65歳以上の方に淵上地区、引田地区及び五日市下田地区の農地65区画を貸し出し、健康増進を目的として農作業や周辺のウォーキングなど「ふるさと農援隊」事業を実施した。

会員数 65人（令和2年3月31日現在）

高齢者支援課 介護保険係

1 第1号被保険者の状況

(1) 第1号被保険者数

(令和2年3月31日現在)

区分	65歳以上75歳未満	75歳以上	合計
前年度末	11,179	11,823	23,002
今年度末	11,121	12,186	23,307
増減	△58	363	305

(2) 第1号被保険者増減内訳

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

増	転入	65歳年齢到達	その他	合計
	167	997	10	1,174
減	転出	死亡	その他	合計
	134	733	2	869

2 介護保険料の状況

(1) 介護保険料(現年度分)

(単位：円、人)

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
調定額	63,497,390	40,661,520	54,224,110	157,757,140	211,866,900	218,361,870
人数	3,051	1,486	1,324	3,206	3,385	3,129
区分	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階
調定額	17,566,500	292,915,690	35,882,600	190,950,350	12,701,200	79,314,000
人数	228	3,405	390	1,876	115	716
区分	第13段階	第14段階	第15段階	合計		
調定額	71,206,500	20,135,200	29,528,900	1,496,569,870		
人数	610	165	221	23,307		

※ 調定額は令和2年5月31日現在、人数は令和2年3月31日現在

(2) 普通徴収収納状況

(単位：円)

区分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
調定額	11,196,500	12,243,160	13,128,860	11,873,680	12,656,360
純収入額	9,989,800	11,027,400	11,808,160	10,640,980	11,322,480
未納額	1,206,700	1,215,760	1,320,700	1,232,700	1,333,880
還付未済額	13,400	13,000	13,000	13,160	15,520
収納率(%)	89.22	90.07	89.94	89.62	89.46
区分	第6期	第7期	第8期	随時期	合計
調定額	13,499,600	14,735,700	17,229,320	1,331,000	107,894,180
純収入額	12,050,080	13,118,500	15,356,240	1,304,100	96,617,740
未納額	1,449,520	1,617,200	1,873,080	26,900	11,276,440
還付未済額	31,360	23,140	44,200	0	166,780
収納率(%)	89.26	89.03	89.13	97.98	89.55

区分	過年度	滞納繰越分
調定額	1,579,900	27,543,000
純収入額	1,495,300	3,938,000
未納額	84,600	23,605,000

還付未済額	0	3,100
収納率(%)	94.65	14.30

3 督促状発付状況

区分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
件数	321	337	348	330	337
区分	第6期	第7期	第8期	随時期	合計
件数	356	346	360	14	2,749

4 催告書等発付状況

催告書 585件

5 訪問徴収状況

訪問件数 130件

6 サービス受給者の状況

(1) 居宅介護（介護予防）サービス利用者数

（国保連合会現物給付令和2年3月審査分及び償還払3月支給決定分）

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
第1号被保険者	89	179	541	503	282	171	76	1,841
第2号被保険者	1	2	11	16	10	7	3	50
合計	90	181	552	519	292	178	79	1,891

(2) 地域密着型（介護予防）サービス利用者数

（国保連合会現物給付令和2年3月審査分及び償還払3月支給決定分）

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
第1号被保険者	1	2	111	92	75	39	26	346
第2号被保険者	0	0	2	3	1	1	1	8
合計	1	2	113	95	76	40	27	354

(3) 施設介護サービス利用者数

（国保連合会現物給付令和2年3月審査分及び償還払3月支給決定分）

区分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
第1号被保険者	498	313	28
第2号被保険者	4	4	1
合計	502	317	29
区分	介護医療院	合計	
第1号被保険者	28	867	
第2号被保険者	0	9	
合計	28	876	

7 保険給付の状況

(1) 年間給付件数

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
訪問サービス	287	558	3,831	4,129	2,919	2,866	2,225	16,815
通所サービス	328	847	4,019	3,786	2,237	1,154	449	12,820
短期入所サービス	5	40	289	470	752	497	201	2,254
単品サービス	1,372	3,435	8,688	9,925	5,624	3,936	1,739	34,719
福祉用具購入	12	24	63	59	30	35	9	232
住宅改修	28	41	54	67	32	33	8	263
地域密着型サービス	21	18	1,414	1,176	961	576	300	4,466
施設サービス	0	0	521	751	2,449	3,873	2,721	10,315
老人福祉施設	0	0	45	129	1,714	2,376	1,751	6,015
老人保健施設	0	0	476	617	710	1,155	653	3,611
療養型医療施設	0	0	0	4	22	190	154	370
介護医療院	0	0	0	1	3	152	163	319
合計	2,053	4,963	18,879	20,363	15,004	12,970	7,652	81,884

(2) 年間費用額

(単位：円)

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
訪問サービス	5,515,185	13,174,666	106,927,977	144,399,362	103,458,091	126,444,173	108,524,818	608,444,272
通所サービス	8,473,143	39,995,502	253,142,061	285,346,727	224,428,890	115,047,971	49,851,417	976,285,711
短期入所サービス	148,630	1,375,711	15,959,076	34,961,441	78,651,249	51,706,938	22,252,990	205,056,035
単品サービス	8,725,879	26,506,698	142,214,172	170,049,173	120,125,549	107,820,246	62,469,483	637,911,200
福祉用具購入	315,410	696,032	1,558,989	2,042,481	1,205,014	1,714,967	343,364	7,876,257
住宅改修	3,398,361	4,205,901	5,680,706	6,866,300	3,135,545	3,474,651	902,670	27,664,134
地域密着型サービス	1,238,013	1,796,068	109,067,197	117,535,620	152,288,338	111,958,803	72,719,726	566,603,765
施設サービス	0	0	138,010,217	210,152,065	693,524,259	1,214,950,289	922,225,516	3,178,862,346
老人福祉施設	0	0	10,794,635	30,583,877	470,484,869	698,495,535	560,249,337	1,770,608,253
老人保健施設	0	0	127,215,582	178,371,144	213,964,551	371,562,052	218,031,447	1,109,144,776
療養型医療施設	0	0	0	1,141,498	8,831,180	78,742,162	68,479,587	157,194,427
介護医療院	0	0	0	55,546	243,659	66,150,540	75,465,145	141,914,890
合計	27,814,621	87,750,578	772,560,395	971,353,169	1,376,816,935	1,733,118,038	1,239,289,984	6,208,703,720

(3) 年間給付額

(単位：円)

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
訪問サービス	4,877,568	11,521,195	94,262,501	127,091,036	90,966,640	111,441,463	96,352,294	536,512,697
通所サービス	7,504,855	35,712,538	223,578,445	253,301,497	197,284,428	101,265,043	44,098,027	862,744,833
短期入所サービス	133,765	1,209,291	13,904,272	30,890,198	70,003,374	45,431,962	19,432,100	181,004,962
単品サービス	8,166,223	24,242,097	134,678,801	159,273,888	112,607,255	99,386,088	56,705,841	595,060,193
福祉用具購入	283,867	617,241	1,359,283	1,826,999	1,019,198	1,534,027	291,712	6,932,327
住宅改修	3,009,624	3,737,263	4,977,666	5,962,144	2,740,164	3,049,476	782,066	24,258,403
地域密着型サービス	1,084,889	1,616,446	96,471,358	103,725,844	135,161,724	99,316,610	65,105,586	502,482,457
施設サービス	0	0	120,915,470	187,235,077	614,317,229	1,073,880,331	818,794,108	2,815,142,215
老人福祉施設	0	0	9,715,146	27,286,613	418,946,291	619,412,289	500,545,513	1,575,905,852
老人保健施設	0	0	111,200,324	158,871,126	187,203,594	327,952,983	190,978,485	976,206,512
療養型医療施設	0	0	0	1,027,347	7,948,053	69,810,653	61,453,030	140,239,083
介護医療院	0	0	0	49,991	219,291	56,704,406	65,817,080	122,790,768
合計	25,060,791	78,656,071	690,147,796	869,306,683	1,224,100,012	1,535,305,000	1,101,561,734	5,524,138,087

※ 単品サービス（福祉用具貸与・特定施設入居者生活介護・介護予防支援・居宅介護支援）

(単位：円)

8 高額介護（介護予防）サービス費の状況（令和元年度年間計）

限度額区分	世帯合算		その他		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
15,000円	0件	0円	7,043件	99,459,073円	7,043件	99,459,073円
24,600円	384件	3,259,337円	2,534件	17,386,355円	2,918件	20,645,692円
44,000円	706件	10,880,089円	1,323件	39,610,544円	2,029件	50,490,633円
年間上限	10件	277,167円	8件	484,593円	18件	761,760円
合計	1,100件	14,416,593円	10,908件	156,940,565円	12,008件	171,357,158円

9 高額医療合算介護（介護予防）サービス費の状況（令和元年度年間計）

限度額区分	件数	給付額
低所得者Ⅰ	387件	10,965,730円
低所得者Ⅱ	177件	4,818,741円
一般	63件	1,957,163円
現役並み所得者 （制度改正前）	0件	0円
現役並み所得者①	28件	1,122,904円
現役並み所得者②	0件	0円
現役並み所得者③	0件	0円
合計	655件	18,864,538円

10 介護予防・生活支援サービス事業費の状況（令和元年度年間計）

（1）訪問通所等事業費及び介護予防ケアマネジメント事業費の状況

種類	件数	費用額	給付額
訪問型サービス （訪問型サービスAを含む。）	1,386件	20,401,757円	18,033,399円
通所型サービス	2,315件	72,970,454円	64,708,823円
介護予防ケアマネジメント事業費	2,319件	11,161,299円	11,161,299円

（2）高額介護予防サービス費相当の状況

限度額区分	世帯合算		その他		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
15,000円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
24,600円	10件	25,285円	0件	0円	10件	25,285円
44,000円	40件	196,089円	0件	0円	40件	196,089円
年間上限	0件	0円	0件	0円	0件	0円
合計	50件	221,374円	0件	0円	50件	221,374円

（3）高額医療合算介護予防サービス費相当の状況

限度額区分	件数	給付額
低所得者Ⅰ	0件	0円
低所得者Ⅱ	1件	3,737円
一般	0件	0円
現役並み所得者 （制度改正前）	1件	4,649円
現役並み所得者①	0件	0円
現役並み所得者②	0件	0円
現役並み所得者③	0件	0円
合計	2件	8,386円

11 利用者負担額等減額認定関係

（1）食費・居住費に係る負担限度額認定状況（令和2年3月31日現在）

（単位：人）

利用者負担 段階	介護老人 福祉施設		介護老人 保健施設		介護療養 型医療施 設		介護医療 院		地域密着型 介護老人 福祉施設 入所者生活介 護		その他		合 計	
	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費
利用者負担 第一段階	28	28	5	5	1	2	0	0	0	0	23	23	57	58
利用者負担 第二段階	65	66	23	23	1	1	0	0	2	2	43	43	134	135
利用者負担 第三段階	190	189	83	83	10	9	8	8	14	14	117	117	422	420
合 計	283	283	111	111	12	12	8	8	16	16	183	183	613	613

(2) 介護老人福祉施設旧措置入所者に係る減額・免除の状況（令和2年3月31日現在）

食費特定標準負担額の減額 (通常1,380円)		利用者負担額の減額・減免 (通常1割)	
減額後の負担額	認定者数	利用者負担率	認定者数
0～300円	0	0～3%	0
390円	2	5%	0
650円	0	合 計	0
合 計	2		

(3) サービス提供事業者による利用者負担額減額の状況（令和2年3月31日現在）
社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額
軽減制度事業 5人

12 第7期介護保険推進委員会

あきる野市介護保険推進委員会設置要綱に基づき、介護サービス基盤の整備や地域ケア体制の確立等の方策について進行管理及び課題を検討し、その成果を本市の介護保険事業の円滑な推進に役立てることを目的とする。

(1) 委員数 10人

(2) 開催状況

回	開催日	会場	主な内容
2	平成31年 4月24日	市役所 本庁舎	・アンケート調査の報告（簡易集計）について ・介護予防・日常生活支援総合事業について ・高齢者おむつ等給付事業の現状等について ・その他
3	令和元年 7月31日	市役所 本庁舎	・推進委員会報告書の作成に向けて ・その他
4	10月30日	市役所 本庁舎	・あきる野市介護保険推進委員会の報告書 (案)について ・その他(報告)
5	令和2年 1月 8日	市役所 本庁舎	・あきる野市介護保険推進委員会の報告書 (案)について

13 第8期介護保険事業計画策定委員会

介護保険法第117条第1項の規定に基づき、令和3年度から令和5年度までの第8期介護保険事業計画を策定することを目的とする。

(1) 委員数 16人

(2) 開催状況

回	開催日	会場	主な内容
1	令和2年 3月18日	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・あきる野市介護保険事業計画策定委員会について ・あきる野市の保健・高齢者福祉・介護保険事業の現状について ・あきる野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

14 あきる野市生活援助サービス従事者「登録のヘルパー」養成研修

ホームヘルパーの人員確保を目的として、市独自の研修を修了した方が要支援1・2相当の方の生活援助を行う訪問介護員として従事できる制度「登録のヘルパー」の養成研修を実施しているものだが、今年度は、新型コロナ対策のため、中止とした。

15 「介護の日」のイベントを開催

介護についての理解と認識を深め、介護に関わる方の支援と、地域での支え合いや交流を促進するため、国が「介護の日」と定めた11月11日の前々日の11月9日にイベントを実施した。

場 所 秋川ふれあいセンター 来場者数 501人

16 介護支援専門員向け研修

(1) スーパービジョン研修

ア 日 時 令和元年12月13日 午前9時30分から午後4時30分まで

イ 参加者 32人（市内14人、市外18人）

(2) ハラスメント研修

新型コロナ対策のため、中止とした。

高齢者支援課 介護認定係

1 要介護・要支援認定者の状況（令和2年3月31日現在）（単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	298	447	745	644	528	591	351	3,604
65～75歳未満	54	49	80	77	64	56	42	422
75歳以上	244	398	665	567	464	535	309	3,182
第2号被保険者	2	5	11	22	14	12	15	81
合計	300	452	756	666	542	603	366	3,685

2 介護予防・日常生活支援総合事業対象者の状況（令和2年3月31日現在）（単位：人）

区分	65～75歳未満	75歳以上	合計
人数	8	29	37

3 要介護認定等の状況

(1) 申請受付状況（平成31年度年間計）（単位：件）

種類	新規（再掲：転入）	更新	変更	新支	合計
件数	997	1,770	294	148	3,209

(2) 介護認定審査会開催の状況

ア 委員（4合議体）	20人
イ 年間開催回数	97回
ウ 審査件数	3,073件

健康課 健康づくり係

1 健康手帳の交付事業

特定健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に役立ててもらふことを目的として40歳以上の者に交付した。

交付対象者	交付数(冊)
健康教育、健康相談、地域イキイキ元気づくり事業等を受けた方	393
特定健康診査又は各種検診等を受けた方	2,030

2 健康教育事業

生活習慣病の予防やその他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的とした。市民の参加を得やすい地域の町内会・自治会館等を利用しながら、骨密度、体組成、足指力といった測定と保健・栄養・歯科などの健康講話を取り入れた健康測定会など、健康づくりのきっかけづくりとして実施した。

区分	内容		実施回数	参加人数
一般	骨密度測定会	子育て世代向け測定会	2	41
		その他(推進委員活動やその他団体からの依頼)	4	105
	地域健康教育	推進委員活動	2	96
		減塩に関する講話 持参汁物の塩分濃度%測定	24	講話 378 測定 210
		あきる野市地域包括支援センター主催 介護教室「健康寿命を延ばしましょう ～フレイル予防へつなげる栄養～」	1	11
ふれあいウォークにおけるワンポイント			6	468
病態別	健康教室「美食健」	脂質異常症予防	1	19
		骨粗しょう症予防	1	14
		糖尿病予防	1	20
		高血圧症予防	1	16
	骨粗しょう症検診会場における集団健康教育		10	122
合計			53	1,500

3 健康相談事業

心身の健康に関する個別の相談に応じて必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理を目的として実施した。体組成計(筋肉量や体脂肪を測定)や血圧測定を行い、個人の健康状態に合わせた相談を行った。また、相談後も必要に応じて、食事習慣の見直しなど生活習慣病の予防と改善を進めた。

区分	内容		実施回数	相談延べ人数
重点健康相談	歯周病	健康のつどいでの歯科相談	1	歯科 19
	骨粗しょう症	骨粗しょう症検診会場	2	保健 43 栄養 10
総合健康相談	定期健康相談(市役所東側ロビー及び五日市ファインプラザ) ※ 3月実施分は、新型コロナ対策のため中止した。		11	保健 162 栄養 139

	予約による個別相談や来所、電話による随時相談	219	保健	214
			栄養	29
	健康のつどい	1	保健	72
			栄養	58
			その他	26
合 計		234		772

4 検診・健康診査事業

がん対策は、早期発見と早期治療が重要である。検診の受診者を増加させるため、受診環境の向上策として、複数のがん検診を同日に受けるセット検診、家族や友人と受診を行うグループ検診、検診中にお子さんをお預かりする一時保育サービスなどを実施した。また、要精検者には、精密検査の受診を勧めた。

(1) 胃がん検診

ア 対象者 市内在住の35歳以上の者 イ 受診者数 4,948人(要精検者266人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
東京都がん検診センター(施設)	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター(施設)	9月から2月まで	75

(2) 肺がん検診

ア 対象者 市内在住の35歳以上の者 イ 受診者数 5,589人(要精検者69人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
東京都がん検診センター(施設)	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター(施設)	9月から2月まで	75

(3) 大腸がん検診

ア 対象者 市内在住の35歳以上の者 イ 受診者数 11,219人(要精検者730人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
東京都がん検診センター(施設)	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター(施設)	9月から2月まで	117
市内20医療機関	6月から10月まで	—

(4) 乳がん検診

ア 対象者 市内在住の30歳以上の女性 イ 受診者数 3,069人(要精検者209人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
東京都がん検診センター(施設)	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター(施設)	9月から2月まで	117

(5) 子宮がん検診

ア 対象者 市内在住の20歳以上の女性 イ 受診者数 2,687人(要精検者27人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
東京都がん検診センター(施設)	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター(施設)	9月から2月まで	117
市内2医療機関	9月から2月まで	—

(6) 前立腺がん検診

ア 対象者 市内在住の50歳以上の男性 イ 受診者数 4,665人(要精検者417人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
市内20医療機関	6月から10月まで	—

(7) がん検診における一時保育サービス

ア 対象者 がん検診受診者の満1歳から未就学までの幼児 イ 開催回数 6回

ウ 会場 あきる野保健相談所 エ 利用者数 29組親子(子ども30人)

(8) ピロリ菌検査

ア 対象者 市内在住の20歳、25歳、30歳、35歳及び39歳の者

イ 受診者数 928人(要精検者46人)

ウ 実施方法 糞便中抗原測定法

エ 実施期間 令和元年11月1日から12月24日まで

(9) 歯周病検診

ア 対象者 市内在住の40歳、50歳、60歳及び70歳の者

イ 受診者数 467人(要精検者210人)

実施場所	実施期間
市内22歯科医院	令和元年10月1日から12月24日まで

(10) 口腔がん検診

ア 対象者 市内在住の60歳以上の者 イ 受診者数 307人(要精検者2人)

実施場所	実施期間
市内23歯科医院	令和元年7月16日から9月28日まで

(11) 骨粗しょう症検診

ア 対象者 市内在住の40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の女性

イ 受診者数 122人(要精検者40人)

実施場所	実施期間
秋川ふれあいセンター	令和元年7月26日、27日

(12) 肝炎ウイルス検診

ア 対象者 40歳になる者及び41歳以上になる者で過去に市が行った肝炎ウイルス検診を受けたことがない者

イ 受診者数 40歳になる者 99人(要精検者 0人)

41歳以上になる者 762人(要精検者 3人)

実施場所	実施期間
市内23医療機関	令和元年6月1日から10月31日まで

(13) 結核検診

ア 対象者 市内在住の65歳以上の者 イ 受診者数 9,014人(要精検者 175人)

実施場所	実施期間
市内22医療機関	令和元年6月1日から10月31日まで

(14) 生活習慣病予防健康診査

ア 対象者 35歳から39歳までの者 イ 受診者数 73人

実施場所	実施期間
市内23医療機関	令和元年8月1日から10月31日まで

(15) 生活保護受給者健康診査

ア 対象者 市内在住の40歳以上で健康保険に加入していない者 イ 受診者数 143人

実施場所	実施期間
市内 2 3 医療機関	令和元年 8 月 1 日から 1 0 月 3 1 日まで

(16) 訪問健康診査

ア 対象者 40 歳以上の在宅で寝たきり又は寝たきりに準ずる者 イ 受診者数 2 人

実施場所	実施期間
市内 4 医療機関	令和元年 6 月 1 日から 1 0 月 3 1 日まで

(17) 特定健康診査等

ア 特定健康診査

(ア) 対象者 40 歳から 74 歳までの国民健康保険加入者

(イ) 対象者数 14,880 人

(ウ) 受診者数 7,554 人

(エ) 受診率 50.77%

実施場所	実施期間
市内 2 3 医療機関	令和元年 6 月 1 日から 9 月 3 0 日まで

イ 特定保健指導

(ア) 対象者 特定健康診査受診者でメタボリックシンドローム判定の基準等により、特定保健指導の対象となった者のうち、参加申込みのあった者

(イ) 対象者数 806 人

(ウ) 申込者数 134 人

(エ) 参加率 16.63%

(18) 後期高齢者医療健康診査

ア 対象者 後期高齢者医療保険加入者 イ 対象者数 11,328 人

ウ 受診者数 5,903 人 エ 受診率 52.11%

実施場所	実施期間
市内 2 3 医療機関	令和元年 7 月 1 日から 1 0 月 3 1 日まで

5 健康づくり推進協議会

開催日	内 容	出席者数
令和元年 7 月 1 0 日	・平成 3 0 年度健康課事業について ・脳卒中予防啓発事業の報告 ・第 2 4 回あきる野市健康のつどいについて	1 5

※令和 2 年 3 月に予定していた協議会は、新型コロナ対策のため延期した。

6 健康づくり市民推進委員会

町内会・自治会から推薦され、市長から委嘱を受けた「健康づくり市民推進委員」が行政と市民のパイプ役として、市と協働で健康づくりの推進を図った。(令和 2 年 3 月末現在 1 1 8 人)

(1) 会議

ア 全体会 実施回数 1 回 出席者数 8 4 人

イ 役員会 実施回数 2 回 出席者数 2 6 人

※ 令和 2 年 3 月に予定していた役員会は、新型コロナ対策のため中止した。

(2) 研修会

区分	実施回数	出席者数	
流し踊り練習	あきる野夏まつりでの流し踊り練習	2	7 4

認知症研修	認知症について～地域で共に暮らし続けるために～	1	35
栄養研修	もしもの時の食の備えと心構え～食べ慣れている食品を上手に活用～	1	24
合 計		4	133

(3) 行事等への参加

開 催	区 分	実施回数	出席者数
市	あきる野夏まつり	1	38
東京都	地元から発信する健康づくり事業表彰式兼活動報告会	1	3
合 計		2	41

(4) 地区・ブロック活動

市内を12の地域に分けたブロックごと及び複数の町内会・自治会が合同で、健康測定会、健康に関する講習会（認知症講演会、落語で笑って健康づくり講座、体操教室など）、地域の交流会などを実施した。

開催回数	一般参加者延べ人数	推進委員延べ人数
81	601	101

(5) 町内会、自治会単位活動

各町内会・自治会において健康づくり市民推進委員が中心となり、ウォーキング、健康リズム体操、調理実習などの活動を実施した。

活動日数	一般参加者延べ人数	推進委員延べ人数
446	5,841	647

(6) 他の団体への協力活動

実施回数 126回 推進委員延べ人数 168人

7 地域イキイキ元気づくり事業（介護保険法の地域介護予防活動支援事業を含む。）

健康づくり市民推進委員を中心に、町内会・自治会、民生・児童委員、ふれあい福祉委員などの協力を得て地域の会館などで開催した。会場では、血圧測定、体操、レクリエーション、健康座談会（時節に合った健康ワンポイントアドバイス）等楽しみながら健康づくりを実施した。令和元年度から、参加者のフレイル予防、筋力の維持増進を図るため「貯筋力測定^{ちよきんりよく}」を取り入れ、握力・足趾力・肺活力・骨密度測定・歩幅力・体前屈の測定を実施した。

(1) 地域イキイキ元気づくり事業

地 区	名 称	実施回数	一 般 参加者数	推進委員 参加者数
雨間	雨間ふれあいサロン	9	139	33
	グリーンタウンイキイキ会	10	99	0
	緑の里 ☺ スマイル	9	130	30
野辺	野辺イキイキする会	9	210	26
二宮	しあわせ会	10	121	38
小川・小川東	たんぼぼグループ	5	83	19
秋留台	秋留台イキイキ元気会	5	51	10
秋川ハイツ	すこやかハイツの会	5	108	0
平沢	平沢元気になるべー会	9	71	27
大塚	もくせい会	8	78	6
上引田	シラサギ会	7	190	20
中引田	なごみ会	10	189	20
下引田	下引田ふれあいサロン	9	115	27

澗上	出雲さわやか会	10	119	14
上代継	ニコニコサロン	9	266	16
油平	油平いきいき会	10	184	39
油平本町	油平本町すみれの会	9	98	10
富士見台	さくら富士見会	10	146	16
森山	もりもり元気会	9	115	0
高瀬	ニコニコぴんぴん元気クラブ	10	195	20
草花	草花イキイキ会	9	236	18
折立	折々あおう会	9	174	27
西ヶ谷戸	西ヶ谷戸いってみんな会	8	71	22
瀬戸岡	瀬戸岡よってみようかい	8	114	30
草花住宅	草花住宅いきいき会	8	53	16
全地区（秋川）	イキイキ元気づくり会	9	169	18
山田	山田のびのび会	11	177	38
網代	むらさきつつじの会	8	94	8
新宿	新宿花みずき会	7	109	13
上宿	上宿健康クラブ	9	99	9
中平	中平ほがらか会	8	82	15
北伊奈	北伊奈いーな会	8	126	16
西伊奈	楽しくゆこう会	9	105	18
森ノ下	健康クラブ「スマイル」	10	119	10
横沢	横沢仲よし会	8	29	16
三内	笑って健康+わん	10	97	20
留原	留原健康ふれあいサロン	10	223	20
中村	中村あゆみ会	8	140	8
高尾	高尾はなまるサロン	4	72	7
上館谷	いきいきホットサロン	9	106	16
小倉	小倉元気会	10	55	0
山下	山下健康づくりの会	8	87	8
戸倉東部	大桜元気会	9	97	9
戸倉東部（盆堀）	ふるさとゆずの会	8	42	8
戸倉西部（星竹）	星竹若鮎会	8	38	8
戸倉西部（城山）	城山元気会	9	106	8
落合	落合いきいき元気かい？	8	73	8
乙津	乙津ふれあい元気会	活動休止中		
軍道	若がえろう会	7	81	7
養沢	養沢いきいき元気会	9	105	9
全地区（五日市）	イキイキ♡元気会	10	249	48
合計	51会場	428	6035	829

※ 令和2年2月25日から3月31日までの間の活動は、新型コロナ対策のため中止した。

(2) 貯筋力測定

測定内容	実施回数	参加人数
握力測定	50ヶ所	右手：784 左手：794
足趾力	50ヶ所	右足：758 左足：752
歩幅力	50ヶ所	743
骨密度測定	43ヶ所	659
肺活力	47ヶ所	707
体前屈	39ヶ所	654

※ 令和2年2月25日から3月31日までの間の活動は、新型コロナ対策のため中止した。

8 健康のつどい事業

- (1) 事業の名称 第24回あきる野市健康のつどい「脳卒中予防 ～見つける我が家の予防策～」
- (2) 目的 市民一人ひとりが、いつまでも健やかで豊かな人生を送るために、健康意識の高揚と、地域全体の健康づくり活動の推進を図ることを目的として開催した。
- (3) 開催日 令和元年10月19日
- (4) 会場 あきる野ルピア及び秋留野広場
- (5) 来場者数 延べ3,780人
- (6) 事業内容 展示、測定・相談、活動発表、各種体験、薬物乱用防止啓発活動、愛の献血等
- (7) 会議等

「第24回あきる野市健康のつどい運営委員会」をあきる野市健康づくり市民推進委員で組織し、企画、準備及び運営を担当した。

内 容	実施回数	委員出席者数
健康のつどい理事会	5	14
健康のつどい役員会	4	88
健康のつどい発足式及び事業報告会	2	127
合 計	11	229

内 容	開催日	委員出席者数 (前委員含む。)
前日準備	令和元年10月18日	88
当日の運営	10月19日	95
合 計		183

9 めさせ健康あきる野21推進会議

あきる野市健康増進計画「めさせ健康あきる野21（第二次）」（以下「21計画」という。）の周知と、「ふれあい いきがい 元気なまち」の実現に向け、市民と協働で事業を実施した。

(1) めさせ健康あきる野21推進会議

毎月10日前後に、市役所において、市民ボランティアである21推進メンバーとともに「21計画」推進の事業内容、実施方法等を検討した。

ア 開催回数 全体会議3回、各班会議8回

※ 令和2年3月に予定していた各班会議は、新型コロナ対策のため中止した。

イ 21推進メンバー出席者数 延べ358人

(2) めさせ健康あきる野21推進会議代表者会議

各班の代表者による代表者会議を開催し、全体活動及び推進会議の運営等を検討した。

ア 開催回数 4回

イ 21推進メンバー出席者数 延べ35人

(3) 全体活動

第24回あきる野市健康のつどいで各班の活動紹介等、21計画に関するPR活動を実施した。

ア 開催日 令和元年10月19日

イ 会場 あきる野ルピア（ルピアホール）

ウ 来場者 一般347人 21推進メンバー20人

(4) 各班活動 ※準備会等は含まない。

区分・名称	実施回数	一般参加者数	21推進メンバー等	内容
(ウォーキングⅡ班) ふれあいウォーク	6	357	111	健康づくりとしてウォーキングを推進し、市内各地の景観地をコースに取り入れるなど多くの市民の参加により実施した。 ※3月実施予定分は、新型コロナ対策のため中止した。
(ウォーキングⅡ班) ふれあいウォーク実踏	8	—	98	ふれあいウォークの参加者が安全に参加できるように、実踏を実施した。
(チーム食生活レモン) レシピ検討会	1	—	12	健康を考えたバランスのよい食生活を実践する人を増やすために活用する予定のレシピについて試作検討した。 場所：秋川ふれあいセンター
(チーム食生活レモン) 視察研修	1	—	9	最新の食情報や秋川流域の食育活動、情報提供の効果的な手段を学ぶために実施した。 視察先：第37回みんなの栄養展（主催西多摩保健所秋川地区特定給食研究会） 場所：イオンモール日の出
(チーム食生活レモン) 出前講座	1	19	12	市内にある団体からの依頼を受け実施した。バランスのよい食事について栄養士のワンポイント、21推進メンバーによる調理体験を行った。 団体名：あきる野市健康づくり市民推進委員（油平自治会）
(チーム食生活レモン) 簡単料理レシピ講習会～バランスよく食べよう！～	—	—	—	※3月実施予定分は、新型コロナ対策のため中止した。
(PR班) イベント等での周知活動	3	1,563	26	子育てフェスティバル、夏まつり、産業祭で「21計画」の周知活動を実施した。 シンボルマークの花の名前を募集・選考し健康のつどいで発表した。
合計	20	1,939	268	

10 自殺対策

誰もが自殺に追い込まれることのないまちを目指して、関係機関・関係団体、市民の代表との自殺対策推進協議会及び市内各部署との自殺対策市内連絡会を開催し、令和2年3月に「あきる野市自殺対策推進計画～思いあい つながりあい 支えあう 笑顔あふれるまち あきる野を目指して～」を策定した。

(1) 自殺対策推進協議会

開催日	内容	出席者数
令和元年 5月27日	・自殺の現状、自殺対策について ・計画策定に関する説明	12
7月30日	・自殺対策推進のための施策について ・関係団体へのヒヤリングについて	11
9月26日	・ヒヤリング結果の報告 ・自殺対策計画の基本施策について ・あきる野市自殺対策推進計画構成案について	11

11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策推進計画（素案）について ・自殺対策基本理念について ・自殺対策推進計画（素案）の概要版について 	10
令和2年 2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの結果について ・自殺対策推進計画（最終案）について ・計画の推進について 	11

(2) 自殺対策庁内連絡会

開催日	内 容	出席者数
令和元年 7月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策推進計画策定の概要説明 ・自殺の現状、自殺対策について ・自殺対策に関連する施策について 	14
10月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策推進計画の素案について ・計画の評価指標について 	8
令和2年 2月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの結果について ・自殺対策推進計画（最終案）について ・計画の推進について 	13

11 学生実習指導

東京都の保健師学生の実習配置計画に基づき保健師学生を、また、全国的な看護師不足が社会問題となる中で看護師の育成・確保という社会的要請に資すること等により看護師学生の実習を受入れ、指導にあたった。

保健師学生（公衆衛生看護学）実習

- (1) 実習生 杏林大学保健学部看護学科
- (2) 期 間 令和元年7月8日から19日まで（土日祝を除く）
- (3) 人 数 2人

12 阿伎留病院企業団関係

秋川流域3市町村で組織運営する阿伎留病院企業団の負担金（分賦金）を、3市町村で均等割9%、人口割30%、利用割61%の率で負担した。

負担金額（年間） 787,717,000円

健康課 母子保健係

1 乳幼児健康診査

母子保健法に基づき、子どもの健やかな成長と発達及び健康増進のため、月齢や年齢に合わせて乳幼児健康診査の集団健診を実施した。未受診者には、健診の重要性を伝えるなど受診勧奨を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携を図り、乳幼児や家族の状況の把握に努めた。

(1) 3～4か月児健康診査

3か月から6か月の前日までの乳児を対象に、乳児健康診査（集団）を実施した。

対象者数	受診者数	受診率 (%)	有所見実数 (人)	有所見延べ者数			
				精密健診	受診(治療) 勧奨	経過観察	その他
489	476	97.3	249	6	28	145	364

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月から2歳の前日までの幼児を対象に、1歳6か月児健康診査（集団）を実施した。

対象者数	受診者数	受診率 (%)	有所見実数 (人)	内精密検査	
				対象者	受診者
484	491	101.4	177	16	13

(3) 3歳児健康診査

3歳から4歳の前日までの幼児を対象に、3歳児健康診査（集団）を実施した。

対象者数	受診者数	受診率 (%)	有所見実数 (人)	有所見延べ者数			
				精密健診	受診(治療) 勧奨	経過観察	その他
538	515	95.7	214	23	25	62	176

2 心理相談

子どもの発達や関わりへの不安を持つ親子を対象に、子どもが個性に合った成長ができ、安心して子育てができるよう支援をするために個別相談や集団事業を実施した。

1歳6か月児経過観察健康診査（心理）					3歳児経過観察健康診査（心理）				
個別相談		グループ指導（こあら）			個別相談		グループ指導（ぱんだ）		
実人員	延べ人員	開催回数	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	開催回数	実人員	延べ人員
65	101	11	14	73	30	51	11	10	58

3 妊婦健康診査（医療機関委託・個別）

妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができる体制を確保するために妊婦健康診査（14回を限度）を実施した。（単位：人）

回数	受診者数	異常なし	有所見実数	回数	受診者数	異常なし	有所見実数
1回目	442	437	5	8回目	415	412	3
2回目	444	439	5	9回目	399	391	8
3回目	434	431	3	10回目	385	377	8
4回目	435	432	3	11回目	373	369	4
5回目	425	421	4	12回目	338	334	4
6回目	421	414	7	13回目	274	269	5
7回目	425	419	6	14回目	165	163	2

※ 有所見実数については、有所見延べ者数

4 里帰り等妊婦健康診査受診費助成

東京都外の医療機関又は市外の助産所で妊婦健康診査を受診した方を対象に、妊婦健康診査の受診費用の負担軽減を図るために助成した。

(1) 助成人数 41人

(2) 助成件数

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
7	6	9	11	16	13	12
8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
17	25	31	30	30	21	18

5 新生児訪問（生後2か月まで）・こんにちは赤ちゃん事業（生後4か月まで）

生後4か月までの乳児のいる家庭を対象に訪問し、乳児とその保護者の心身の状況及び養育環境の把握並びに助言を行うため乳幼児家庭全戸訪問を実施した。（単位：人）

出生者数 483	訪問者数 474	訪問率 98.1%	訪 問	474	新生児訪問	285
			訪問時 不在等	9	こんにちは赤ちゃん訪問	189
					里帰り	4
					拒否等	5

6 6～7か月児及び9～10か月児健康診査

6か月から8か月の前日、9か月から11か月の前日までの乳児を対象に、医療機関において健康診査（個別）を実施した。（単位：人）

6～7か月児			9～10か月児		
受診者数	異常なし	有所見実数	受診者数	異常なし	有所見実数
470	414	56	484	434	47

7 訪問指導実施状況

妊産婦又は乳幼児の健康診査結果に基づき、助産師、保健師等が訪問し、保健指導を実施した。

妊 婦		産 婦		新 生 児		未 熟 児		そ の 他	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
439	447	391	431	229	240	0	0	340	370

8 保健指導（健康相談）実施状況（延数）

妊婦から幼児とその保護者を対象に、専門職による相談等を実施した。（単位：人）

妊 婦		産 婦		乳 児		幼 児		そ の 他	
面接	電話	面接	電話	面接	電話	面接	電話	面接	電話
545	47	264	155	1239	95	1335	66	0	0

9 育児相談

乳児から幼児とその保護者を対象に、個別に育児相談を実施した。（単位：人）

あきる野保健相談所 (22回)		五日市保健センター (11回)		合 計 (33回)		
乳 児	幼 児	乳 児	幼 児	乳 児	幼 児	合 計
404	385	96	105	500	490	990

10 母親学級

出産・子育てに向けて、妊婦とその家族を対象に心の準備ができ、仲間とのつながりを持って安心して子育てができるよう支援した。

(1) 母性科

平日コース（3日制）				土曜日コース	
学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数	学級数	受講者数
4	11	86	135	4	78

(2) 育児科

乳幼児の成長に応じた適切な離乳食づくりを通して、食習慣の確立を支援することを目的に次の教室を実施した。

ア 乳児（離乳食の目的と進め方について、講話と試食により、乳汁から幼児食に移行するまでの基本的な知識を段階別に支援）

(ア) 離乳食教室（おおむね5～6か月の1回食）・ごっくんコース

学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数
9	9	77	77

(イ) 離乳食教室（おおむね7～11か月の2・3回食）・もぐもぐ・かみかみコース

学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数
8	8	70	70

(ウ) 離乳食教室（おおむね5～6か月の1・2・3回食）・総合コース

学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数
2	2	13	13

イ 幼児（バランスのとれた幼児食や望ましいおやつ等について、講話と実習により、自立して食べることの確立に向けて、自食行動を起こし、望ましい食環境を整えることができるように支援）

離乳食教室（おおむね1歳～1歳6か月の幼児食）・ぱくぱくコース

学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数
4	4	37	37

11 歯科健診等

(1) 一般及び幼児歯科健康診査

歯科医師による口腔診査と個別相談及び歯科衛生士による集団での歯みがき指導と食生活の確認を実施した。

事業名	回数	人数	むし歯のない者	むし歯のある者
妊婦歯科健診（母親学級）	4	49	36	13
1歳6か月児健診	22	491	488	3
3歳児健診	22	516	462	54

(2) 乳幼児歯科相談

歯科健診や予防処置を継続的に行うことで乳幼児の口腔の健全な発育発達を促し、心身の健康増進を図るために実施した。

事業名	回数	人数	塗布歯数（本）
歯科健康診査	47	879	
予防処置（フッ化物塗布）	139	1041	16933

(3) 歯科健康教育

食生活とむし歯の関係、口腔清掃の正しい方法、口腔疾患の予防及び口腔機能の獲得を理解す

るために実施した。

事業名	回数	人数	事業名	回数	人数
むし歯予防教室	9	37	園はみがき指導	8	440
離乳食教室	13	114	乳児健康診査 (集団指導)	22	442

12 栄養指導

妊産婦や乳幼児とその保護者たちが望ましい食習慣を身に付け、健康的な子育てができるように、妊娠中の食事や離乳食のすすめ方の情報提供を集団と個別相談を通じて支援した。

妊産婦			乳幼児		
集団指導		個別栄養指導 (人)	集団指導		個別栄養指導 (人)
実施回数	延べ人員		実施回数	延べ人員	
8	117	0	109	1244	514

13 乳幼児発達健診（年12回・個別）

子どもの発育・発達上の問題を抱える親子を対象に、子どもが個性に合わせて成長し、保護者が安心して子育てができるよう小児科医師による発達健診を実施した。

乳児		幼児	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
3	3	27	62

14 乳幼児経過観察健診（年12回・個別）

子どもの発育上の問題を抱える親子を対象に、子どもが健やかに成長し、保護者が安心して子育てができるよう小児科医師による経過観察健診を実施した。

乳児		幼児	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
8	8	34	62

15 妊娠届受理件数

妊娠された方に、妊娠・出産の経過、子どもの発育状況、健康診査、予防接種等を記録する母子健康手帳や手引書、妊婦健康診査受診票、出生通知票などが入った「母と子の保健バッグ」を保健師等が面接し、交付した。

件数 453件

16 出生通知票受理件数

赤ちゃんの母子保健サービスの入り口として、出生通知票を受理した。

件数 448件

17 子育て関連情報の配信

年回（毎月、上旬・中旬の2回）の配信のうち、中旬配信の12回を担当し、乳幼児の情報をメール登録者に配信した。

名称	回数	配信数(件)
子育て応援メール	12	3969

18 未熟児養育医療助成

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を市が負担した。

(1) 給付件数等 (単位：件)

医療券認定件数	継続協議	変更届	再交付申請
12	0	0	0

(2) 医療費助成件数及び金額

区分	件数	医療助成金額 (円)	徴収金 (円) C (A - B)			
			費用徴収額 (円) A	食事療養費負担額 (円) B		
				0食	0	
社会保険	12	3,354,898	904,057	904,057	0食	0
国民健康保険	0	0	0	0	0食	0
合計	12	3,354,898	904,057	904,057	0食	0

19 めざせ健康あきる野21 (第二次) 計画推進事業 (ふれあい広場)

領域2の子育て・親子の健康「妊娠期からの切れ目のない子育て親子の健康づくり」をめざし、地域で安心して子育てができることを目標に、市の取組として親子のふれあいができる場を提供した。

開催日数 11日

参加人数 年間延べ167人

プログラム 絵本の読み聞かせ・紙芝居・手遊び・自由遊びなど

開催月	人数	絵本の読み聞かせ	紙芝居	手遊び
4月	16	「ぴよーん」「ねずみくんのチョッキ」	—	「ぐーちょきぱー」「とんとんひげじいさん」「げんこつやまのたぬきさん」
5月	16	「ぴよーん」	—	「とんとんひげじいさん」「げんこつやまのたぬきさん」「ぐーちょきぱー」
6月	12	「ありとすいか」	「おおきく おおきく おおきくなあれ」	「ぼんだ うさぎ こあら」「とんとんひげじいさん」「ぐーちょきぱー」
7月	20	「ぴよーん」「電車で帰ろう」「はらぺこあおむし」	—	「とんとんひげじいさん」「ぐーちょきぱー」
8月	8	—	—	「とんとんひげじいさん」「大きな栗の木の下で」
9月	13	「ぴよーん」	—	「とんとんひげじいさん」「げんこつやまのたぬきさん」「ぐーちょきぱー (アンパンマンバージョン)」
10月	14	「おおきく おおきく おおきくなあれ」	—	「とんとんひげじいさん」「ぐーちょきぱー」
11月	19	「電車で帰ろう」	「おべんとう」	「大型バス」「ぼんだうさぎこあら」「ぐーちょきぱー」

12月	20	—	—	「ぐーちょきぱー」 「頭・肩・膝ぼん」「大きな栗の木の下で」「とんとんひげじいさん」
1月	16	「ぴょーん」	—	「とんとんひげじいさん」 「ぐーちょきぱー」
2月	13	「ぴょーん」「ねずみくんのチョッキ」	—	「げんこつやまのたぬきさん」 「ぐーちょきぱー」「とんとんひげじいさん」
3月	新型コロナ対策のため中止した。			

20 東京都子ども医療費助成申請書等受理件数

小児慢性疾患医療費助成

児童福祉法第21条の5の規定により、慢性疾患にかかっていることにより長期に療養を必要とする児童等の健全な育成を図るため、東京都が実施し、市が申請等の手続処理を行った。

小児慢性疾患医療費助成申請書兼同意書（新規）	小児慢性疾患医療費助成申請書兼同意書	変更届	医療券再交付申請書
7	58	12	0

21 特定不妊治療費助成

医療保険が適用されない高額な特定不妊治療を受診者の経済的負担を軽減するため、医療費の助成事業を実施した。

(1) 助成人数 38人

(2) 助成件数 60件

1 予防接種法関係

予防接種法に基づき、次の定期予防接種をあきる野市医師会等の協力を得て実施し、感染症の予防を図った。

未接種者に対しては、勧奨通知の送付や乳幼児健診時の指導のほか、予防接種モバイルサービスを提供し、接種率の向上に努めた。

(1) 予防接種別実施状況

ア ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎

(ア) 対象者

1 期初回・追加 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1 期初回 生後3月に達した時から生後12月に達するまでの期間

1 期追加 1 期初回接種（3回）終了後12月から18月までの間隔をおく。

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	第1期	初回	1回目	491	473	96.3	17委託医療機関で実施
			2回目	491	483	98.4	
			3回目	491	497	101.2	
		追加	466	512	109.9		
合 計			1,939	1,965	101.3		

イ 急性灰白髄炎

(ア) 対象者

1 期初回・追加 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1 期初回 生後3月に達した時から生後12月に達するまでの期間

1 期追加 1 期初回接種（3回）終了後12月から18月までの間隔をおく。

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	第1期	初回	1回目	0	0	—	14委託医療機関で実施
			2回目	0	0	—	
			3回目	0	0	—	
		追加	0	2	—		
合 計			0	2	—		

※ 平成24年より、イ急性灰白髄炎のみの接種からアの四種混合接種に変更になったため、対象者数はアに含まれ抽出不可

ウ ジフテリア、破傷風

(ア) 対象者

2 期 11歳以上13歳未満の者

(イ) 標準的な接種期間

11歳に達した時から12歳に達するまでの期間

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第2期	759	548	72.2	19委託医療機関で実施

エ 麻しん 風しん

対象者

1期 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者

2期 5歳以上7歳未満の者であって、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第1期	518	490	94.6	1期、2期18委託医療機関で実施
	第2期	661	612	92.6	
合 計		1,179	1,102	93.5	

オ 日本脳炎

(ア) 対象者

1期初回・追加 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者

2期 9歳以上13歳未満の者

(イ) 標準的な接種期間

1期初回 3歳に達した時から4歳に達するまでの期間

1期追加 4歳に達した時から5歳に達するまでの期間

2期 9歳に達した時から10歳に達するまでの期間

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	第1期	初回	1回目	580	593	102.2	1期17、2期19委託医療機関で実施
		2回目	580	557	96.0		
	追加		572	584	102.1		
	第2期		746	728	97.6		
合 計			2,478	2,462	99.4		

カ 日本脳炎（特例対象者）

対象者 平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれまでの20歳未満の未接種者

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	第1期	初回	1回目	1,452	37	2.5	1期17、2期19委託医療機関で実施
		2回目	1,456	41	2.8		
	追加		1,824	95	5.2		
	第2期		2,050	269	13.1		
合 計			6,782	442	6.5		

キ 結核（BCG）

(ア) 対象者

生後1歳に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

生後5月に達した時から生後8月に達するまでの期間

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率(%)	実施日数
集団接種	491	476	96.9	18

ク Hib（ヒブ）感染症

(ア) 対象者

生後2月から生後60月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

初回接種開始は、生後2月から生後7月に至るまで

追加接種は、初回接種終了後7月から13月までの間隔をおく。

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	初	1回目	475	447	94.1	16委託医療機関で実施

	回	2回目	475	454	95.6
		3回目	475	454	95.6
		追加	475	476	100.2
合計			1,900	1,831	96.4

ケ 小児の肺炎球菌感染症

(ア) 対象者

生後2月から生後60月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

初回接種開始は、生後2月から生後7月に至るまで

追加接種は、初回接種終了後60日以上の間隔をおいて生後12月から生後15月に至るまで

接種方法	種別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備考	
個別接種	初回	1回目	475	448	94.3	16委託医療機関で実施
		2回目	475	463	97.5	
		3回目	475	470	98.9	
	追加	475	491	103.4		
合計			1,900	1,872	98.5	

コ ヒトパピローマウイルス感染症

(ア) 対象者

12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日までの間にある女子

(イ) 標準的な接種期間

13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間

接種方法	種別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備考
個別接種	1回目	1,892	3	0.2	17委託医療機関で実施
	2回目	1,892	0	0	
	3回目	1,892	0	0	
合計			5,676	3	0.05

サ 水痘

(ア) 対象者

生後12月から生後36月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1回目 生後12月から生後15月に達するまで

2回目 1回目の接種終了後6月から12月までの間隔をおく。

接種方法	種別	対象者	接種済者数	接種率(%)	備考
個別接種	1回目	518	506	97.7	16委託医療機関で実施
	2回目	518	440	84.9	
合計			1,036	946	91.3

シ B型肝炎(平成28年10月1日から定期接種化)

(ア) 対象者

生後2月から生後12月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

生後2月に至った時から生後9月に至るまで。27日以上の間隔を空けて2回接種した後、1回目の接種から139日以上の間隔をおいて1回接種する。

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	1回目	475	454	95.6	16委託医療機関で実施
	2回目	475	472	99.4	
	3回目	475	465	97.9	
合 計		1,425	1,391	97.6	

ス インフルエンザ

対象者 満65歳以上及び60歳以上65歳未満の者であって政令で定める者

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	23,818	10,194	42.8	164委託医療機関で実施

セ 高齢者肺炎球菌ワクチン

対象者 令和元年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者及び60歳以上65歳未満の者であって政令で定める者

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	2,167	883	40.7	25委託医療機関で実施

ソ 風しん第5期

(ア) 抗体検査

対象者 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

検査方法	クーポン券発行数	検査済者数	検査率(%)	備 考
個別検査	4,525	789	17.4	全国の委託医療機関で実施

(イ) 予防接種

対象者 風しん抗体検査を受け、低抗体者であると判明した者

接種方法	検査済者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	789	166	21.0	全国の委託医療機関で実施

(2) 予防接種健康被害調査委員会

事故の発生がなかったため、委員会は開催しなかった。

2 任意予防接種等事業関係

あきる野市医師会の協力を得て、風しん抗体検査及び風しん予防接種を実施し、先天性風しん症候群の発生防止に努めた。

(1) 先天性風しん症候群対策風しん抗体検査事業

対象者 市内に住所を有する19歳以上の者で、妊娠を予定又は希望している女性及びその女性と同居している者並びに妊婦と同居している者

※ 既に風しんワクチン（混合ワクチン含む。）を2回以上受けている者又は自身で抗体検査を受け、低抗体者（HI法16倍以下、EIA法におけるEIA価8.0未満又は国際単位

①30IU/ml未満、国際単位②45IU/ml未満）と確認できる者は除く。

検査方法	受診券発行数	検査済者数	検査率(%)	備 考
個別検査	79	64	81.0	24委託医療機関で実施

(2) 先天性風しん症候群対策風しん予防接種助成事業

対象者 市内に住所を有する19歳以上の者で、妊娠を予定又は希望している女性及びその女性と同居している者並びに妊婦と同居している者で、次のいずれかに該当する者

- ・風しん抗体検査を受け、低抗体者であると判明した場合
- ・妊婦健康診査で低抗体者であると判明し、出産後速やかに接種を受ける場合
- ・自身で抗体検査を受けた場合などで、低抗体者であると確認できる場合

接種方法	助成券発行数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	45	41	91.1	24 委託医療機関で実施

3 休日診療関係

(1) 医科診療

休日における急病患者的の利便を図るため、あきる野市医師会の協力を得て休日診療及び準夜診療を76日実施した。

休日診療(9:00~17:00)					準夜診療(17:00~22:00)					合計
診療科目	内科	小児科	その他	小計	診療科目	内科	小児科	その他	小計	
受診者数	1,909	1,076	341	3,326	受診者数	472	200	91	763	4,089
1日当たり平均受診者数	25.1	14.2	4.5	43.8	1日当たり平均受診者数	6.2	2.6	1.2	10.0	53.8

(2) 歯科診療

休日における急病患者的の利便を図るため、東京都西多摩歯科医師会の協力を得て休日診療を46日実施した。

休日診療(9:00~17:00)		
診療科目	受診者数	1日当たり平均受診者数
歯 科	68	1.5

4 畜犬登録事務

畜犬登録事務を次のとおり行った。

新規登録数	234件
鑑札再交付	16件
無償交付数	0件
鑑札交換数	139件
捕獲犬の拘留に関する公示	3件
引き取り、収容動物の公示	3件
登録総数(年度末現在)	4,484頭

5 薬物乱用防止活動

健康のつどい、成人式等の会場において、パンフレット等の配布により啓発活動を行った。

東京都薬物乱用防止推進秋川地区協議会あきる野支部により、青少年の薬物乱用防止対策の一環として、中学生を対象に薬物乱用防止ポスター・標語の募集をし、応募作品の展示を行った。

標語応募数	1,508
ポスター応募数	166

6 エイズ予防運動

市庁舎及びあきる野保健相談所において、パンフレット等の配布により啓発活動を行った。

7 献血関係

市庁舎北側駐車場など、延べ2会場で計3日、献血を実施した。

受付者数	献血者数	献 血 内 容 (単位:人)		
		200cc	400cc	成分献血
170	156	7	149	0

8 骨髄移植ドナー支援事業

ドナー登録者を増やすため、骨髄等の提供を完了した方と事業所に対して助成金を交付する制度を設けているが、申請はなかった。

9 感染症予防事業

令和2年10月18日、台風19号による床上床下浸水被害を受けた家屋に「消毒薬、ゴム手袋、防護服セット、マスク」を64件配布した。

10 あきる野市感染症対策本部事務

新型コロナ対策のため、「あきる野市感染症対策本部」が設置され、年度中に全6回の会議等の事務を行った。